



デザイナーズボード

取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。



●守っていかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。

●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。

●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>



- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- ボードに部品を固定したり、重量物を取付けることはできません。ボードが変形したり、破損します。

<施工上のご注意>



- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・ $\phi 4$ ネジ： $1.5N\cdot m \pm 0.5N\cdot m$ (15 ± 5 kgf·cm)
- コンクリートブロック壁等、取付ける躯体側は不陸や損傷を補修するなどして、十分な取付強度を発揮できる状態であることを確認してください。強度が弱った壁にデザイナーズボードを施工すると、壁が破損したり亀裂が入り危険です。
- 柱仕様で設置する場合、既設壁の基礎に干渉しないように十分ご注意ください。

<施工上のご注意 つづき>

⚠ 注意

- デザイナーズボードを取付ける軸体は、重量ブロックの場合、厚さ12cm [JIS A 5406の区分16（C種以上）]であることを確認してください。12cm未満のブロックの場合、ブロック肉厚がフィッシャープラグの全長より短く十分な固定強度が出ません。
- 指定の穴径より大きい穴をあけると、フィッシャープラグが抜けやすくなり、製品が落下してケガをするおそれがあります。
- 壁の有効深さ30mmの穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についていた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

1 梱包明細表

【1】端部スライドフレーム

名 称	略 図	員 数		
		L09	L18	L36
端部スライドフレーム		1	1	1
端部スライドフレームベース		1	1	1
【1-1】φ4×13サラドリルネジ D=6		4	6	10

【2】端部フレーム

名 称	略 図	員 数		
		L09	L18	L36
端部フレーム L09		1	-	-
端部フレーム L18		-	1	-
端部フレーム L36		-	-	1
端部フレームベース L09		1	-	-
端部フレームベース L18		-	1	-
端部フレームベース L36		-	-	1
【2-1】φ4×13サラドリルネジ D=6		4	6	10

【3】連結フレーム

名 称	略 図	員 数		
		L09	L18	L36
連結フレーム L09		1	-	-
連結フレーム L18		-	1	-
連結フレーム L36		-	-	1
連結フレームベース L09		1	-	-
連結フレームベース L18		-	1	-
連結フレームベース L36		-	-	1
【3-1】φ4×13サラドリルネジ D=6		4	6	10

【4】ボード押さえ

名 称	略 図	員 数
ボード押さえ		1

【5】コーナーフレーム

名 称	略 図	員 数
コーナーフレーム		1

【6】入隅フレーム

名 称	略 図	員 数
入隅フレーム		1
入隅フレームベース		1
【6-1】φ4×13サラドリルネジ		6

*入隅フレームを切断して両方使用する場合のために

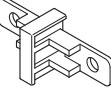
【6-1】ネジは余分に同梱しています。

1. (つづき)

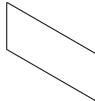
【7】端部キャップセット

名 称	略 図	員 数
端部キャップA		1
端部キャップB		1
取付説明書<B098>	—	1
取扱説明書<UC033>	—	1

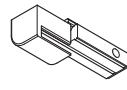
【10】連結キャップセット

名 称	略 図	員 数
連結キャップ		2

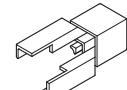
【12】ボード

名 称	略 図	員 数
ボード		1

【8】コーナーキャップセット

名 称	略 図	員 数
コーナーキャップ		2

【9】入隅キャップセット

名 称	略 図	員 数
入隅キャップ		2

【11】ネジセット

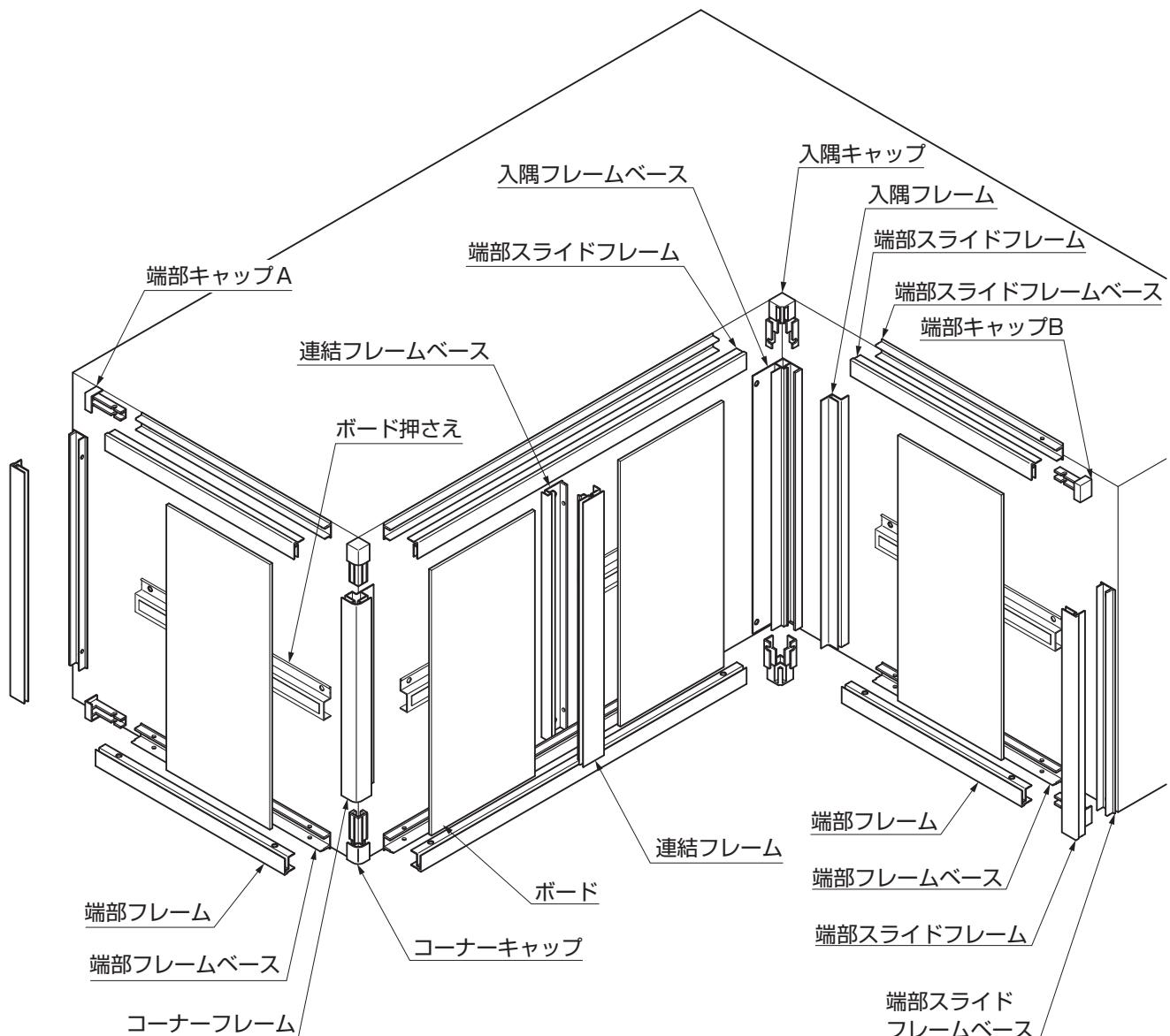
名 称	略 図	員 数
【11-1】 $\phi 4 \times 25$ ナベタッピン ネジ2種 D=7 G=5		20
【11-2】フィッシュヤープラグS5		20

【13】柱取付部品

名 称	略 図	員 数
柱固定金具		4
【13-1】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		25

2 壁に取付ける場合

1. 各部名称



2. 全体図

標準・連結施工

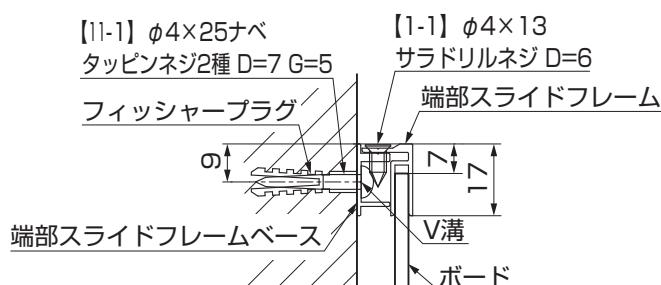
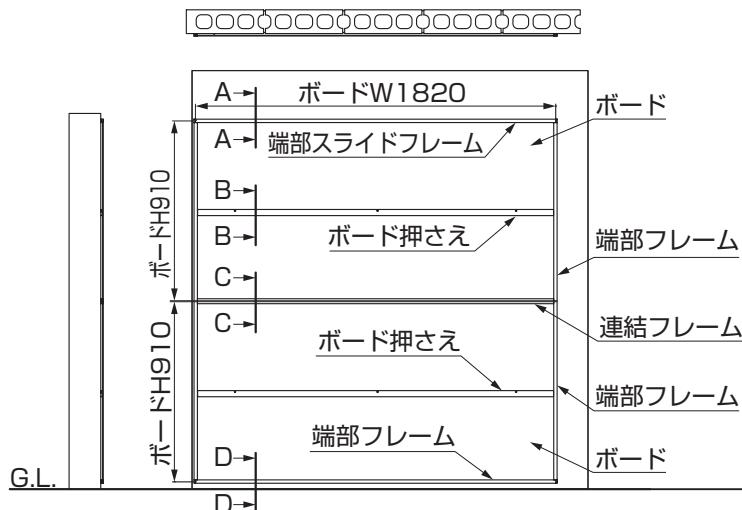


図2-1 A-A断面詳細図

コーナー施工

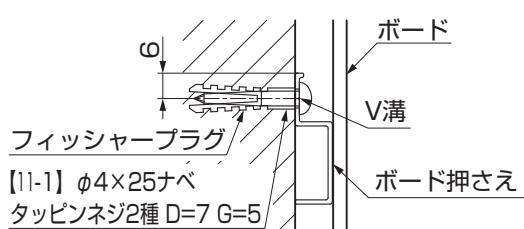
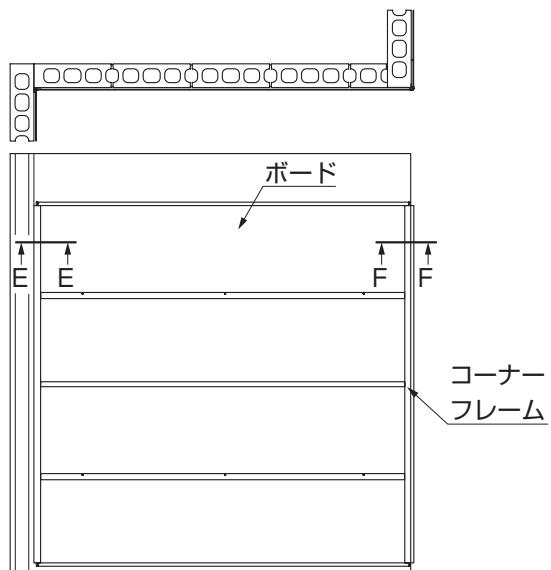


図2-2 B-B断面詳細図

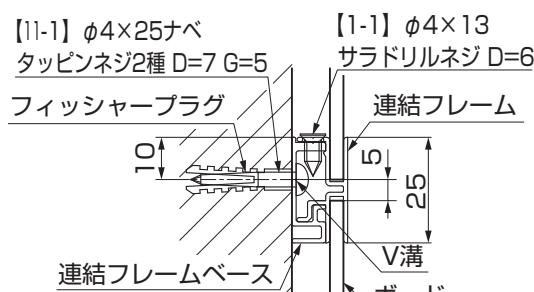


図2-3 C-C断面詳細図

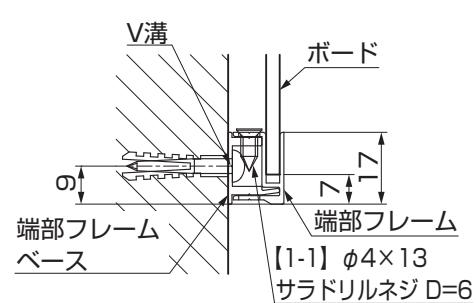


図2-4 D-D断面詳細図

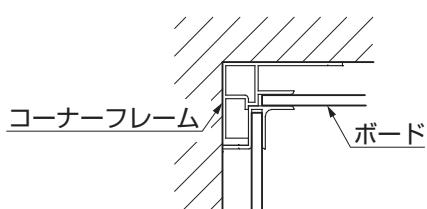


図2-5 E-E断面詳細図

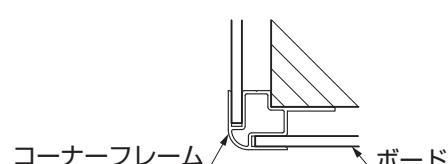
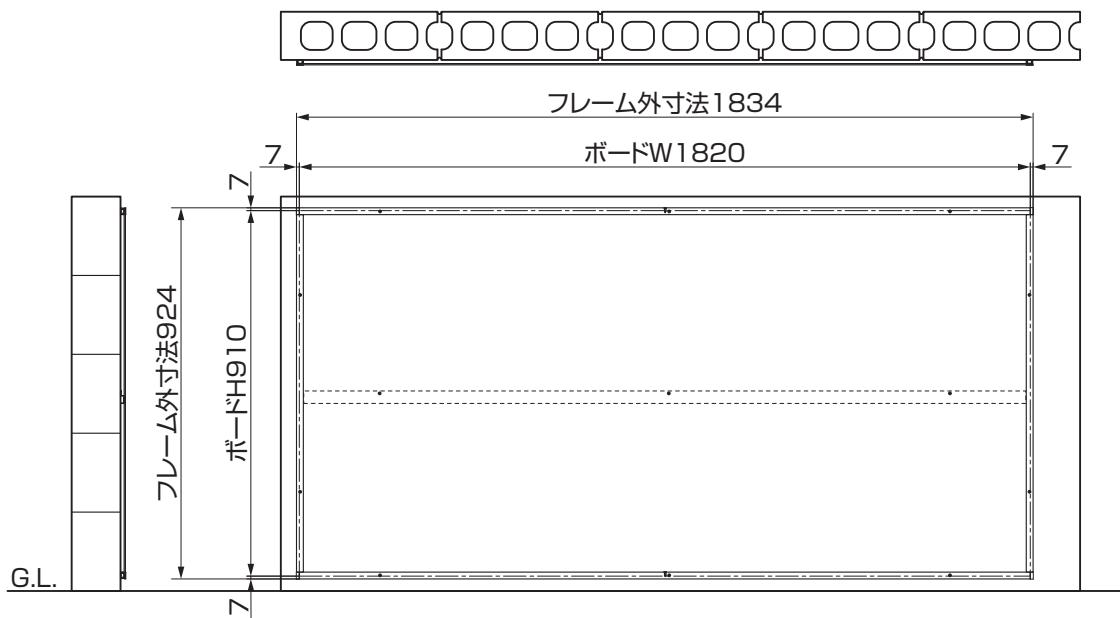


図2-6 F-F断面詳細図

3. 施工寸法の確認

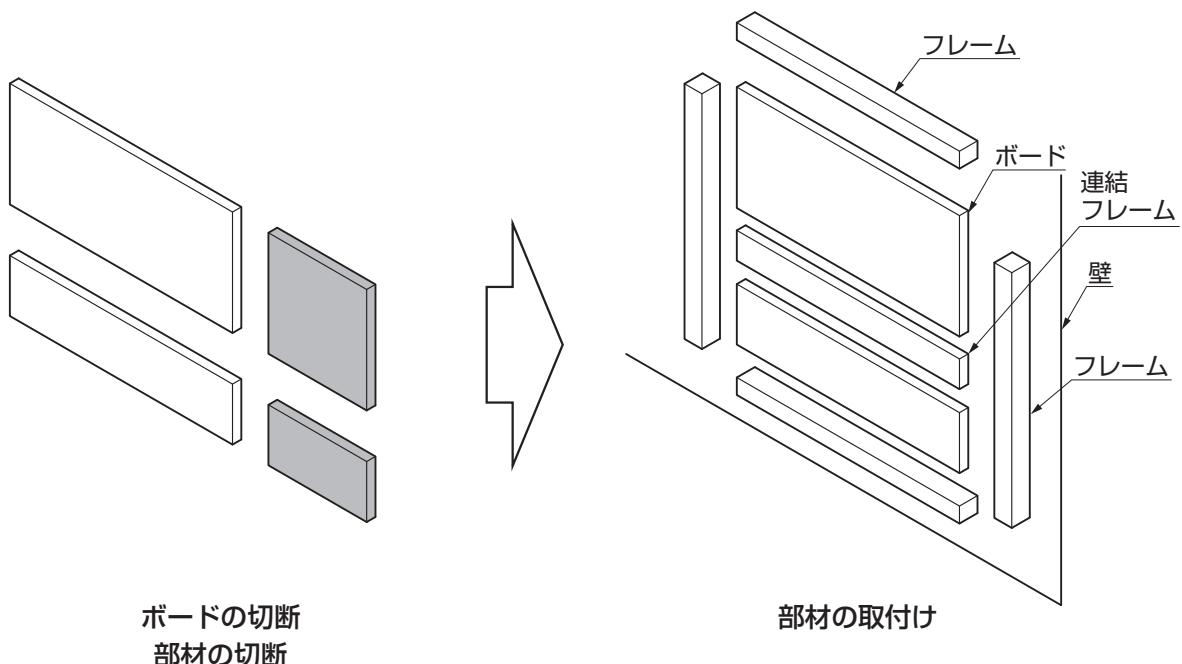


①施工するボードのレイアウトを検討して、フレームおよびボードの切断寸法を計算してください。

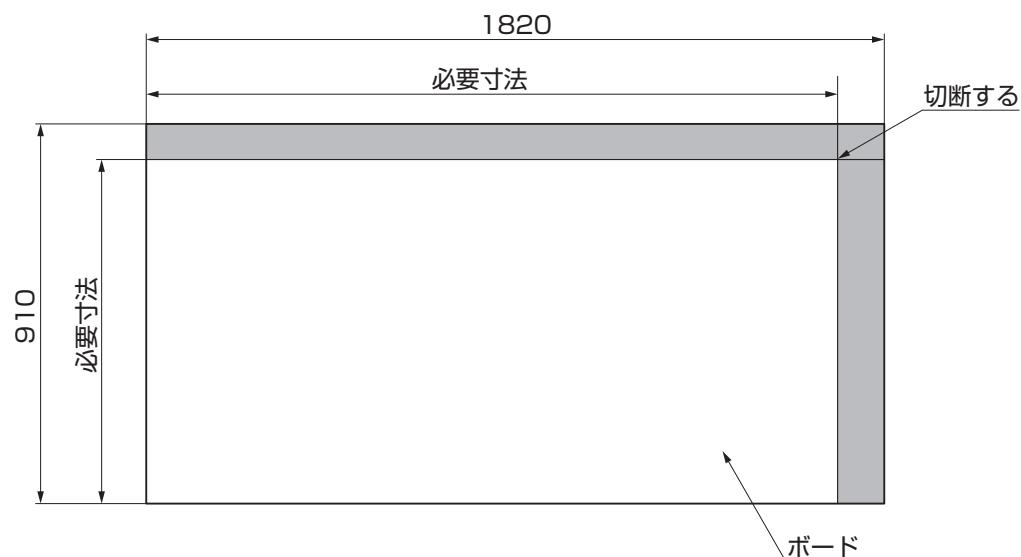
4. 施工手順

ポイント

- 下記手順にて施工を進めてください。



5. ボードの切断

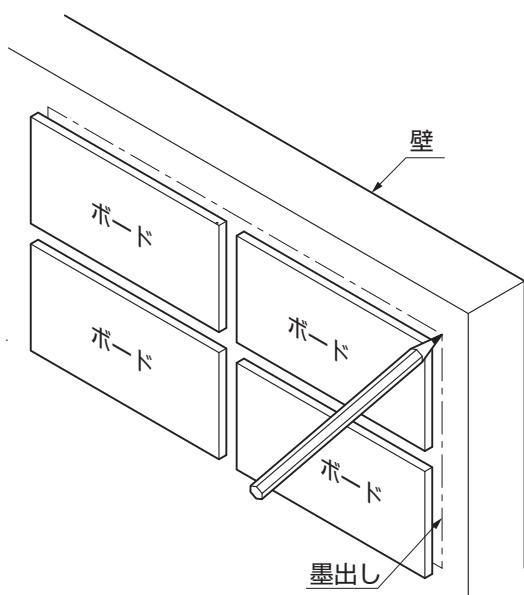


①ボードを必要寸法分に合わせて、切断してください。

ポイント

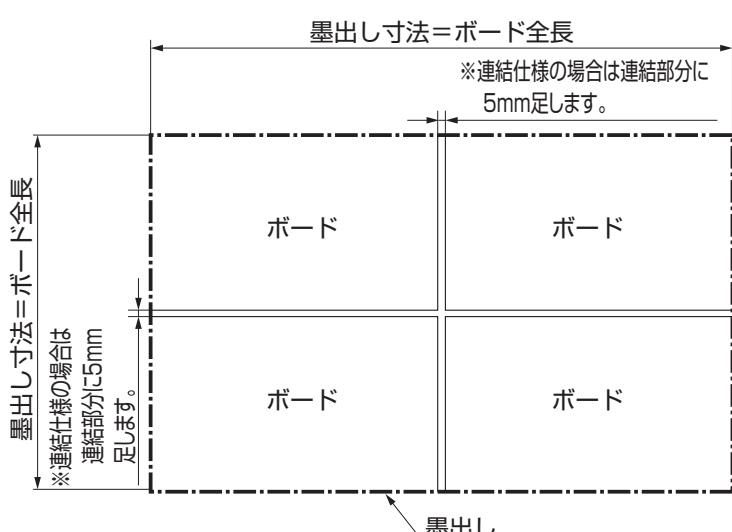
●ボードは、現場のサイズに合わせて現場で切断してください。カッター等で両面に何度も切れ込みを入れると、切り込み部分が折れやすくなり、きれいに切断できます。

6. ボードの墨出し



ポイント

●ボードの外形に7mm増すとフレームの外形になります。



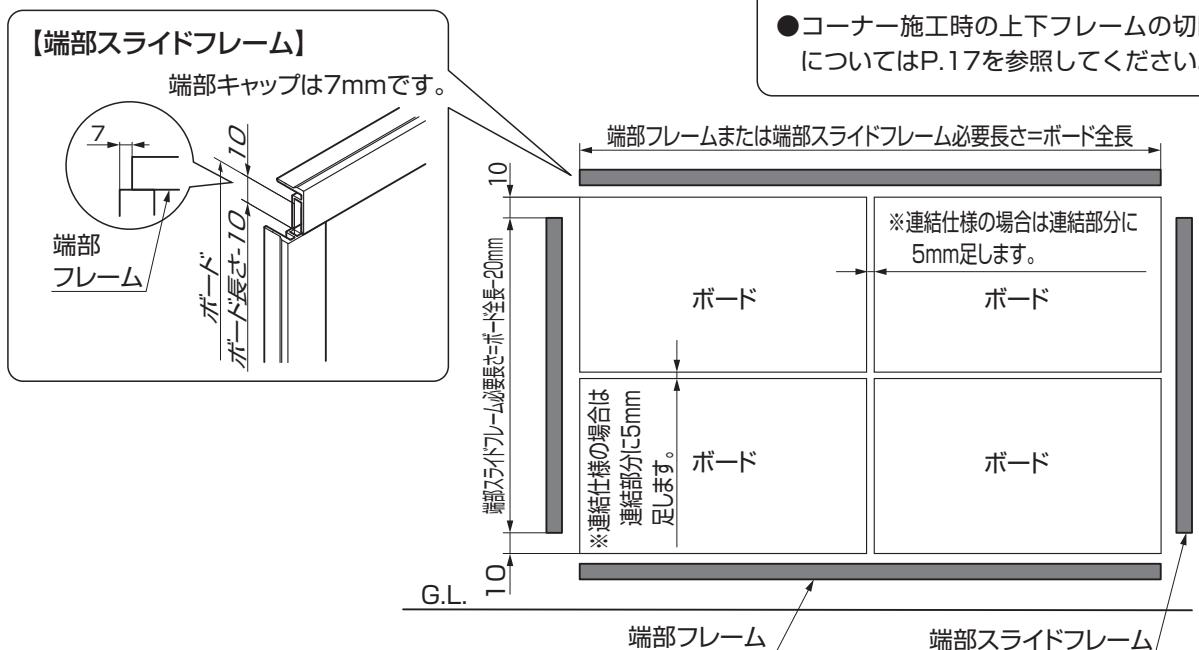
①壁にボードをあてて位置を決めてください。

②ボードに沿って墨出ししてください。

7. 標準・連結の場合

7-1 フレームの切断

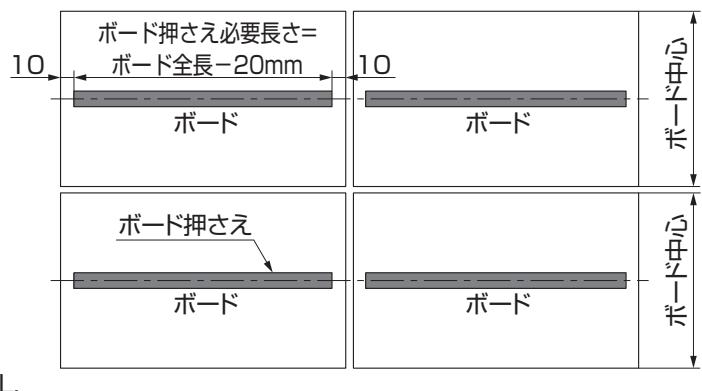
(1) 端部フレーム、端部スライドフレームの切断



ポイント

- 上下のフレームは、ボードの合計と同じ長さで切断してください。連結施工時はボードの合計に5mm足してください。
- 左右のフレームは、ボードの合計から上下10mmづつ差し引いた長さで切断してください。連結施工時はボードの合計に5mm足してください。
- ボードのフレームへの飲み込みは10mmです。

(2) ボード押さえの切断



ポイント

- ボード押さえの穴あけ数は下記の目安を確認し、必ず目安以上の数量を取付けられるように壁への穴あけを行なってください。

固定箇所の目安

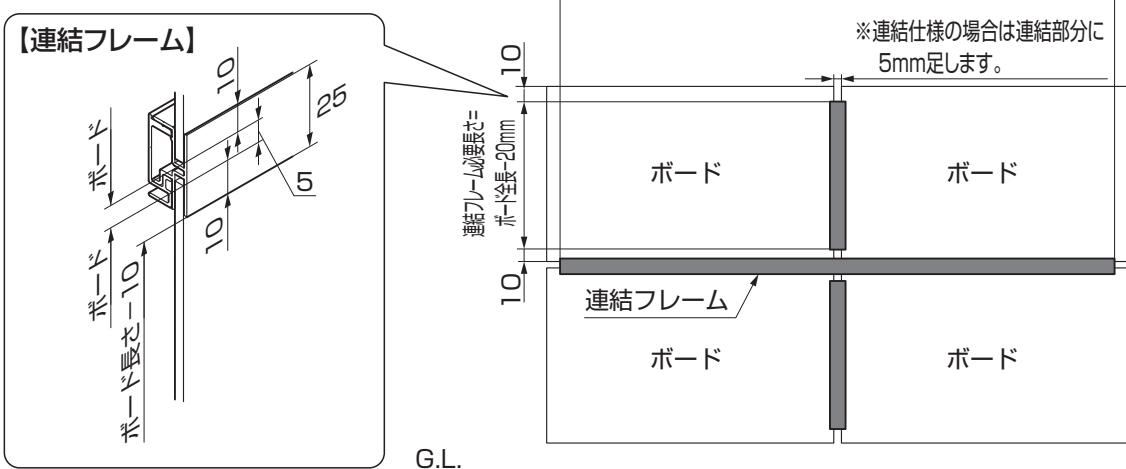
ボード押さえ	3
--------	---

ポイント

- ボード押さえはボードのバタつきを少なくさせます。ボードの中心付近に取り付けてください。
- ボード押さえの切断長はW1800のサイズで出荷されています。ボードを切断した場合はボードを切断した長さ分だけボード押さえを切断してください。

7. (つづき)

(3) 連結フレームの切断



ポイント

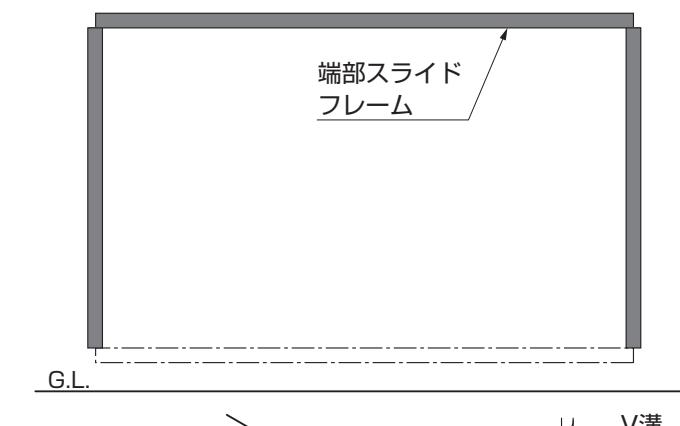
- 連結フレームは横勝ちにすると下段からボード1枚づつ順番に組み付けができ施工が簡単になります。
- ボードのフレームへの飲み込みは10mmです。

7-2 フレームの加工

ポイント

- 端部スライドフレームと端部フレームは同じ構造です。
 - ・端部スライドフレームは横からスライドしての取付けできるため施工が簡単にできます。
 - ・端部フレームは内側からネジ止めできるのでG.L.から近い位置でも組付けができます。
- 上記構造のため本書では上面・側面はスライドフレームでの取付方法、下面是端部フレームでの取付方法を示しています。

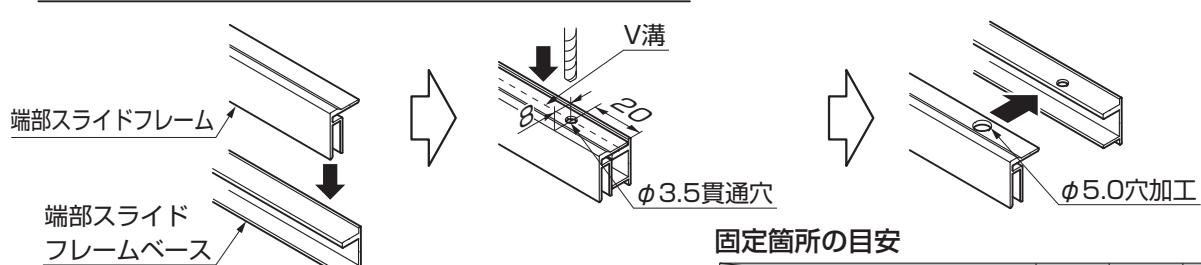
(1) 端部スライドフレームの加工



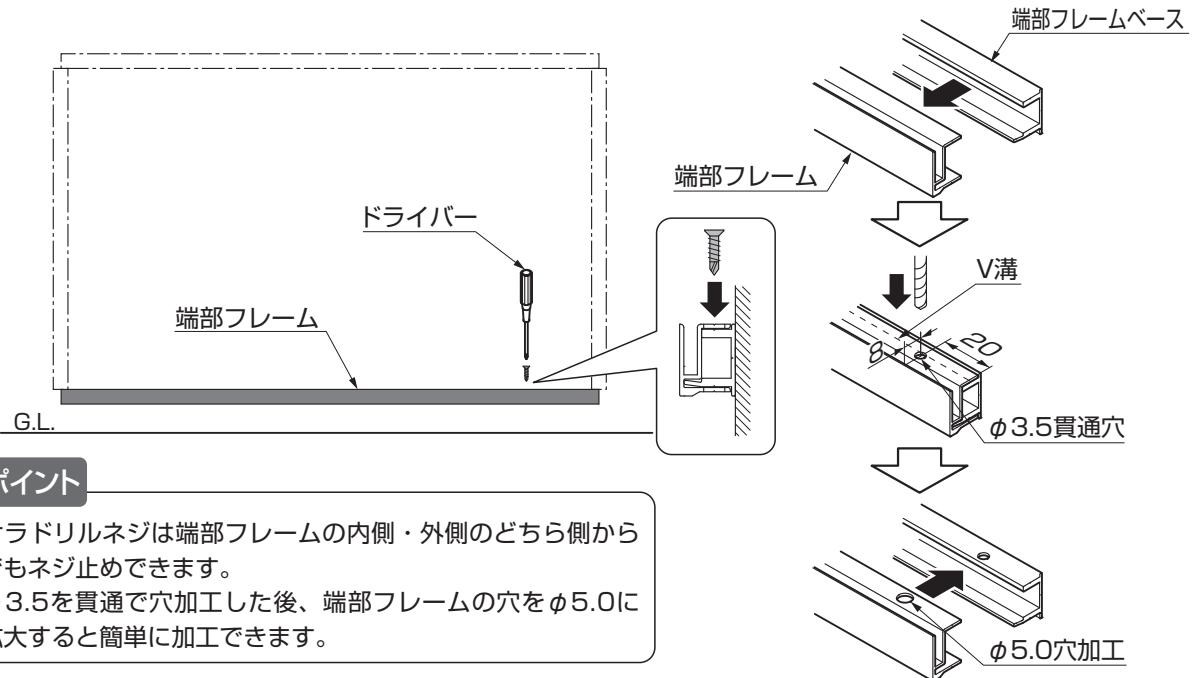
ポイント

- $\phi 3.5$ を貫通で穴加工した後、端部フレームの穴を $\phi 5.0$ に拡大すると簡単に加工できます。

- ①端部スライドフレームに端部スライドフレームベースを合わせてください。
- ②フレームを合わせた状態でV溝に $\phi 3.5$ の穴を開けてください。
- ③端部スライドフレームの $\phi 3.5$ の穴に $\phi 5.0$ の穴を開けてください。



(2) 端部フレームの加工 (先に施工する側)



ポイント

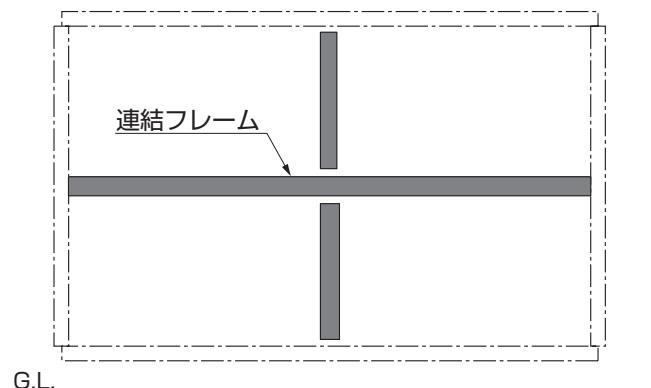
- サラドリルネジは端部フレームの内側・外側のどちら側からでもネジ止めできます。
- $\phi 3.5$ を貫通で穴加工した後、端部フレームの穴を $\phi 5.0$ に拡大すると簡単に加工できます。

- ① 端部フレームに端部フレームベースを合わせてください。
- ② フレームを合わせた状態でV溝に $\phi 3.5$ の穴をあけてください。
- ③ 端部フレームの $\phi 3.5$ の穴に $\phi 5.0$ の穴をあけてください。

固定箇所の目安

	L09	L18	L36
端部フレームベース	2	3	6

(3) 連結フレームの加工



ポイント

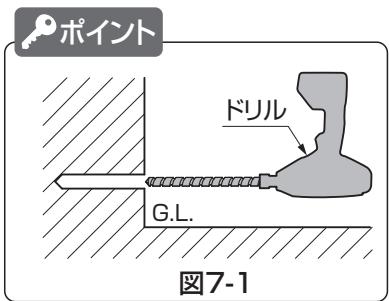
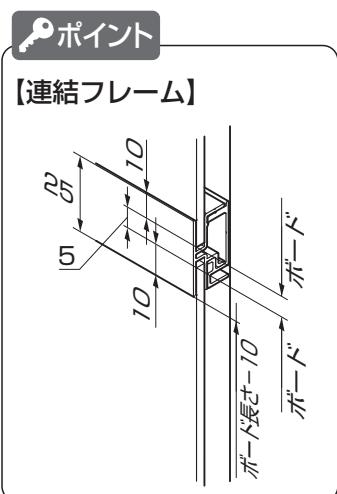
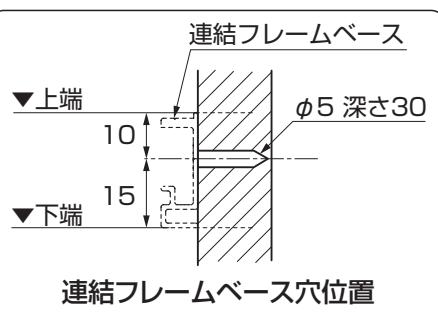
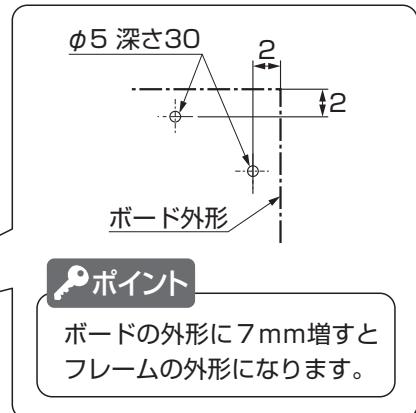
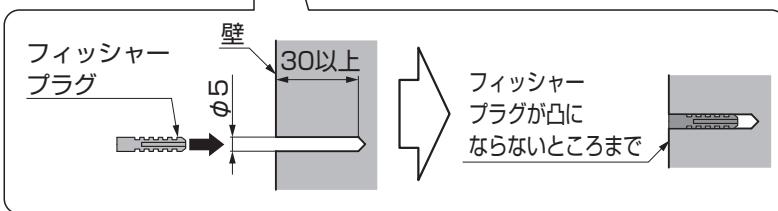
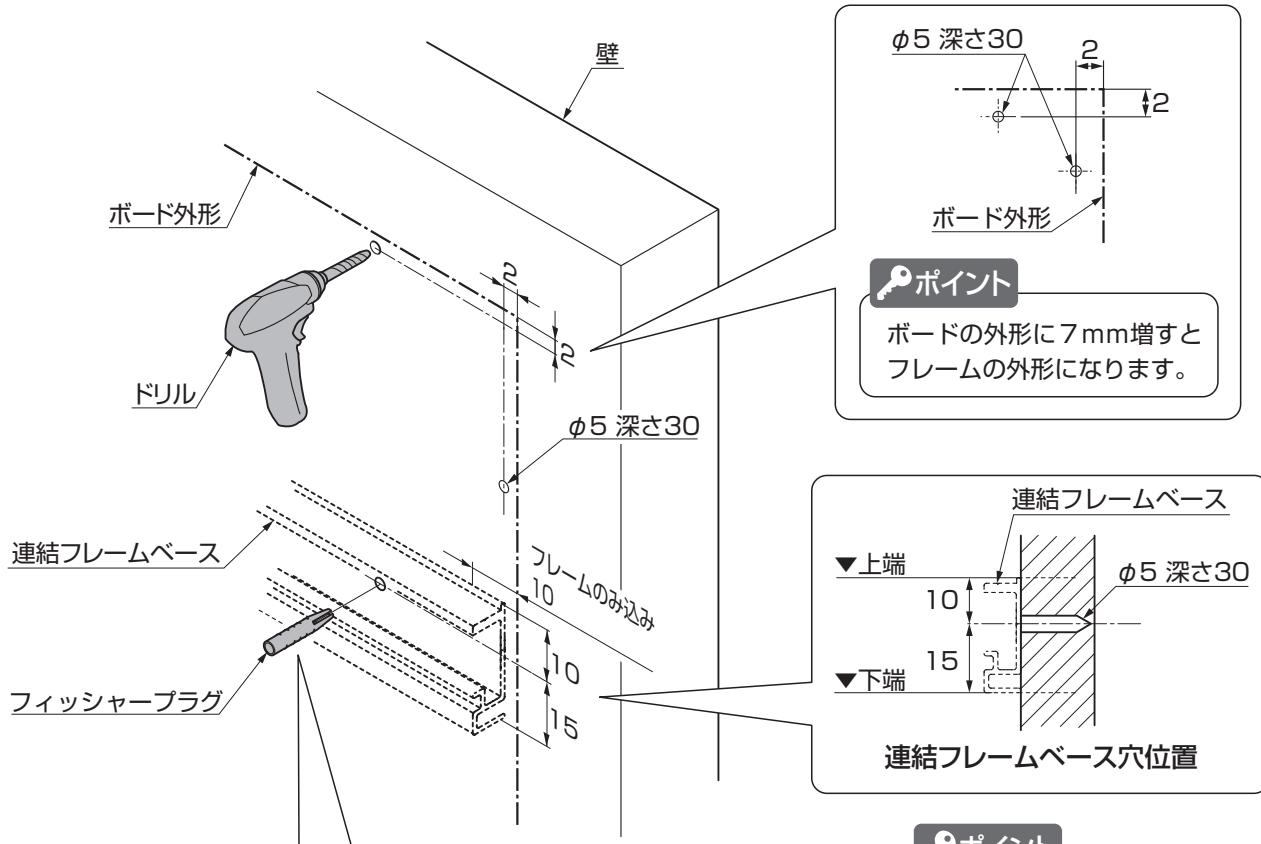
- P.16を参照して施工の順番と連結フレームの向きを確認してください。
- $\phi 3.5$ を貫通で穴加工した後、連結フレームの穴を $\phi 5.0$ に拡大すると簡単に加工できます。

- ① 連結フレームに連結フレームベースを合わせてください。
- ② フレームを合わせた状態でV溝に $\phi 3.5$ の穴をあけてください。
- ③ 端部フレームに空けた $\phi 3.5$ の穴を $\phi 5.0$ に拡大してください。

固定箇所の目安

	L09	L18	L36
連結フレームベース	2	3	6

7-3 壁への下穴加工



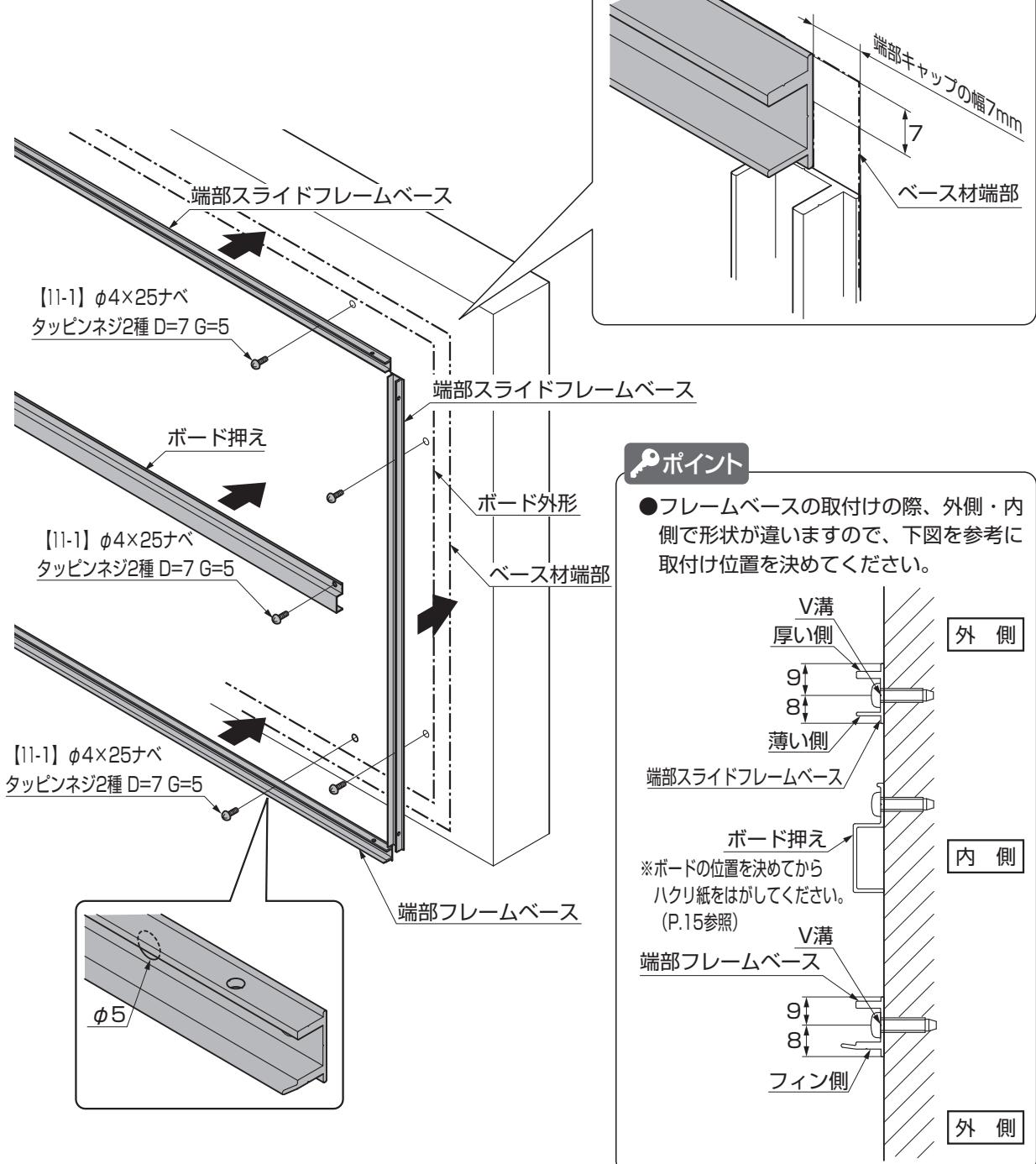
- 下穴をあける際に、壁に破損・亀裂などが起こらないように十分に注意してください。
- 壁にフレや亀裂などが入った場合は十分に修復を行い、壁の端部から離れた位置にもう一度施工しなおしてください。
- 穴の中の切粉は、微細な切粉がほとんどなくなるまで掃除してください。掃除が不完全な場合、フィッシューブラグの強度が足りなくなるおそれがあります。
- G.L.からの下空き寸法は、電動工具を操作できる位置を確認してから行なってください（図7-1）。

ポイント

- 下穴をあける際に、壁に破損・亀裂などが起こらないように十分に注意してください。
- 壁にフレや亀裂などが入った場合は十分に修復を行い、壁の端部から離れた位置にもう一度施工しなおしてください。
- 穴の中の切粉は、微細な切粉がほとんどなくなるまで掃除してください。掃除が不完全な場合、フィッシューブラグの強度が足りなくなるおそれがあります。
- G.L.からの下空き寸法は、電動工具を操作できる位置を確認してから行なってください（図7-1）。

7-4 部材の取付け

(1) フレームベースの取付け



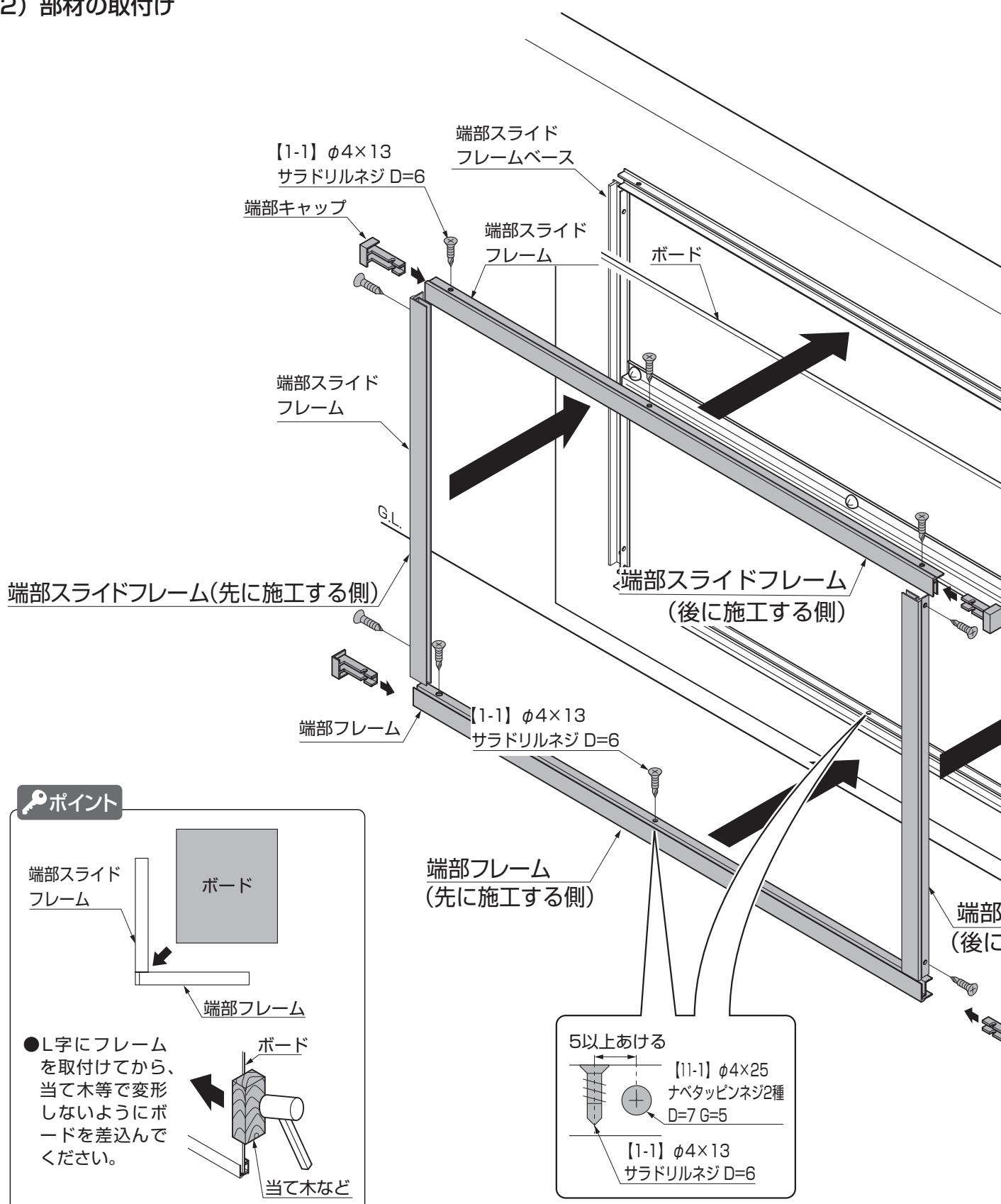
①端部スライドフレームベースと端部フレームベースに $\phi 5$ の穴をあけ、コンクリートブロックに【11-1】で取付けてください。

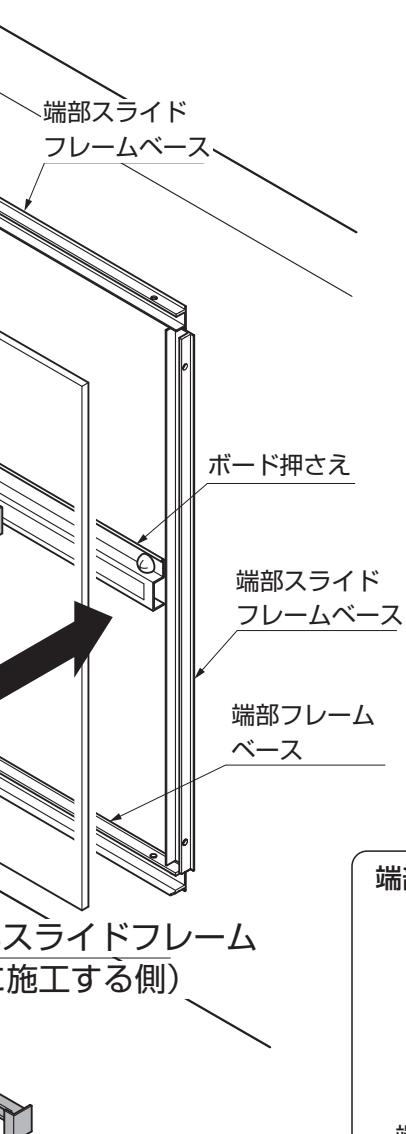
②ボード押さえに $\phi 5$ の穴をあけ、コンクリートブロックに【11-1】で取付けてください。

7. (つづき)

7-4 つづき

(2) 部材の取付け





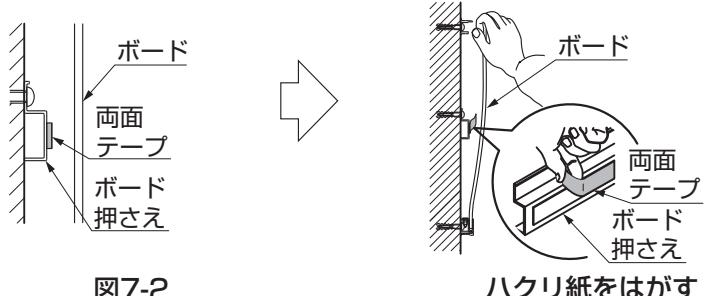
■ボードの取付け

端部フレームの施工 (先に施工する側)

- ①端部フレームベースに端部フレームを被せて【1-1】で固定してください。
- ②端部キャップを【1-1】で取付けてください。
- ③ボードを端部フレームに差込んでください。
- ④ボードの位置が決まったらボード押さえについている両面テープのハクリ紙をはがしてください。 (図7-2)

ポイント

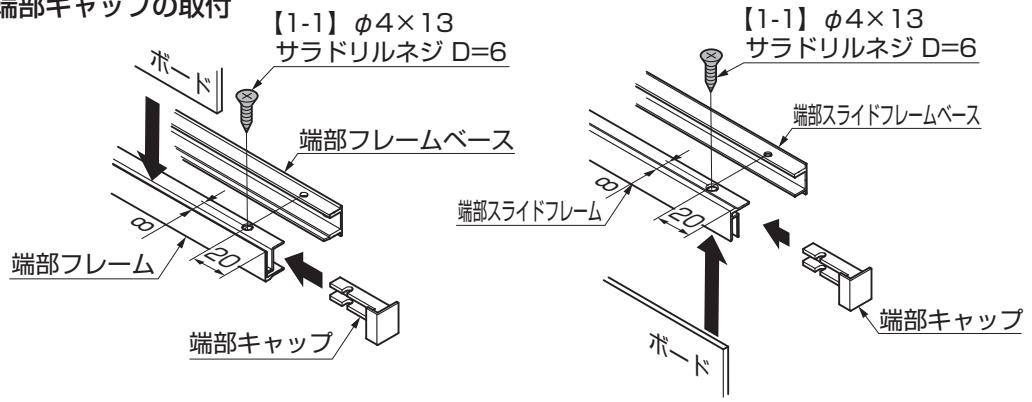
- ボードの位置が決まったら、ボードを図のように手で広げ、ボード押さえについている両面テープのハクリ紙をはがしてください。



端部スライドフレーム (後に施工する側)

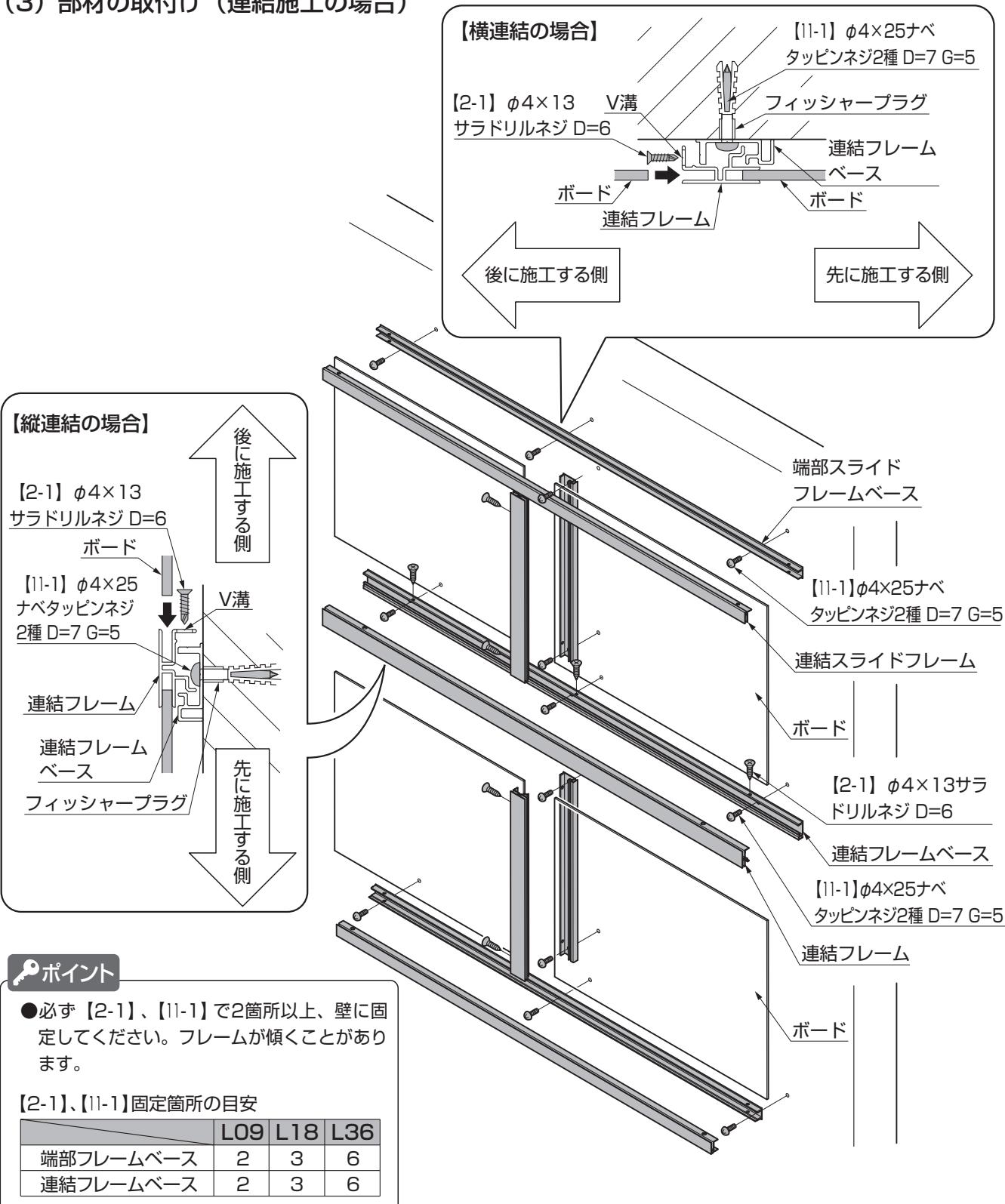
- ⑤ボードに端部スライドフレームを差込みながら端部スライドフレームベースに【1-1】で固定してください。
- 四隅のフレームが完成したら
- ⑥ボードの上からボード押さえの付近を両面テープがしっかりと貼付くように押し当ててください。

端部キャップの取付



7. (つづき)

(3) 部材の取付け (連結施工の場合)

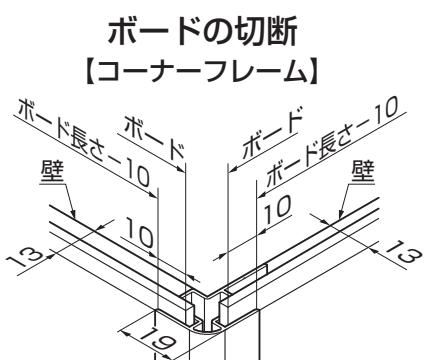
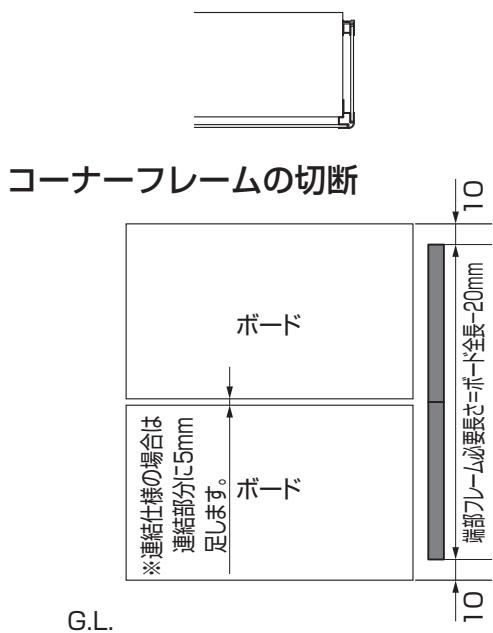


- ①施工する位置の壁に $\phi 5$ 深さ30mmの下穴をあけ、フィッシュヤープラグを差込んで【11-1】で端部フレームベースを固定してください。
- ②連結フレームを連結フレームベースに引っかけながら【2-1】で固定してください。

8. コーナーの場合

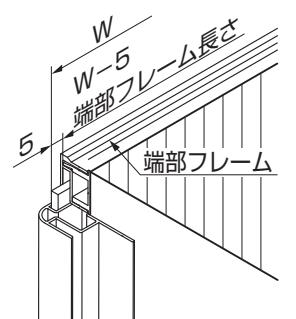
8-1 コーナーフレームの切断とボードの切断

(1) 出隅コーナーの場合



ポイント

- 出隅コーナー施工の場合は壁からボードが5mm出た長さになります。



ポイント

- コーナーフレームの切断長はボードの合計から上下10mmづつ差し引いた長さで切断してください。連結施工時はボードの合計に5mm足してください。
- ボードのフレームへの飲み込みは10mmです。

(2) 入隅コーナーの場合

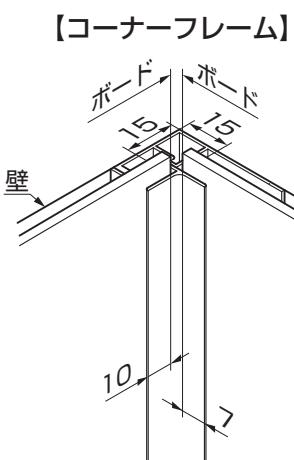
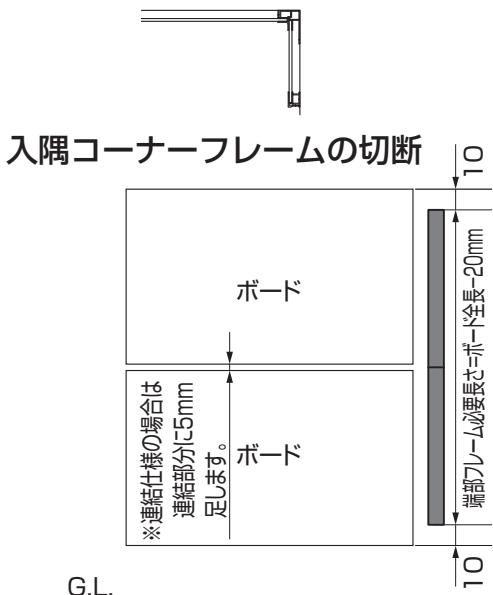


図7-3

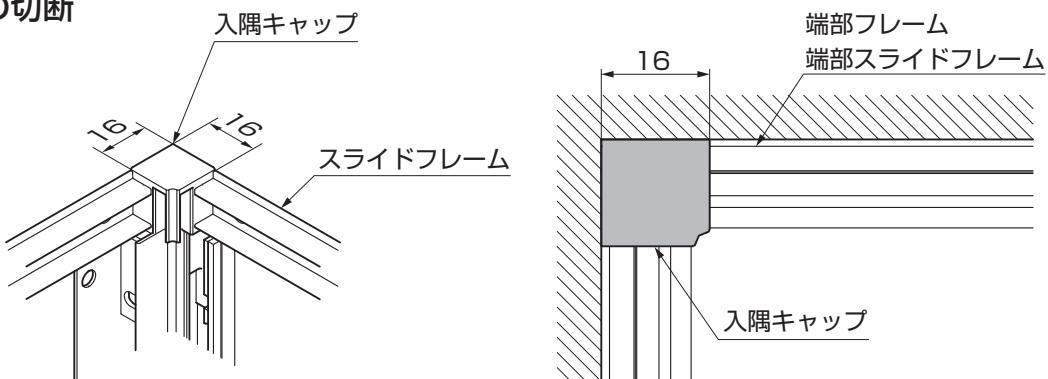
ポイント

- コーナーフレームの切断長はボードの合計から上下10mmづつ差し引いた長さで切断してください。連結施工時はボードの合計に5mm足してください。
- ボードのフレームへの飲み込みは左右違います。図7-3を参照してください。

8. (つづき)

8-2 上下フレームの切断

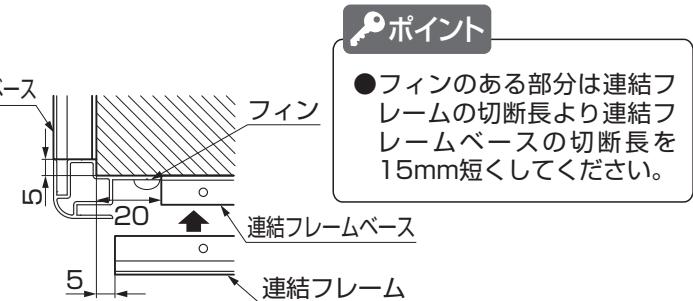
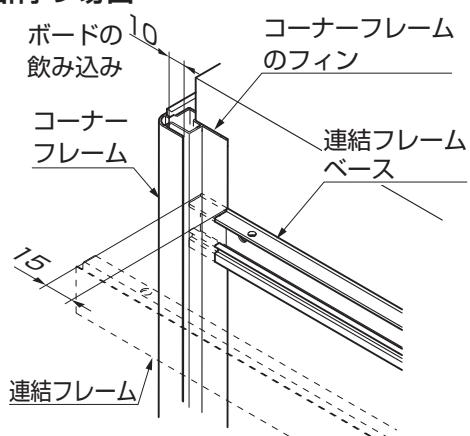
上下フレームの切断



①上下に設置するフレームは、壁から16mmの位置で切断してください。

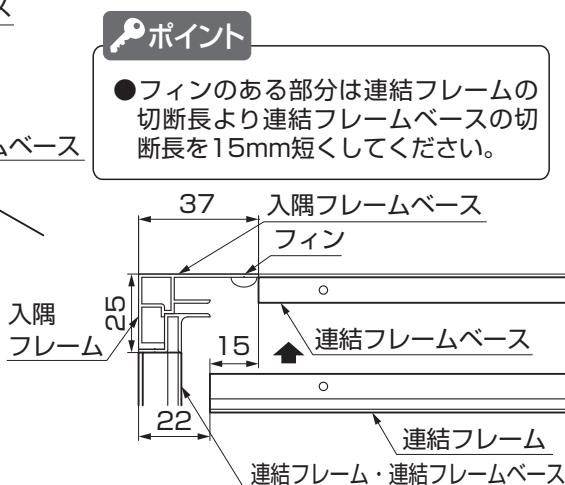
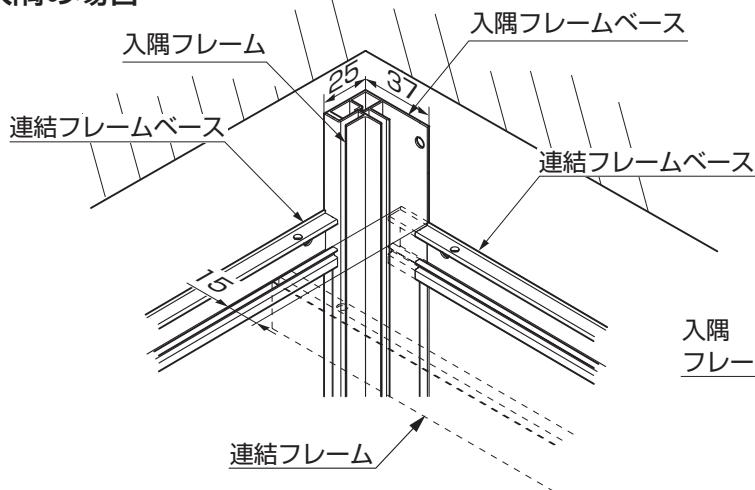
8-3 連結フレームの切断

出隅の場合



- ①コーナーフレームのフィン部分がある側の連結フレームベースは、角から20mmに合わせて切断し連結フレームは角から5mmに合わせて切断してください。
②コーナーフレームのフィンのない側は連結フレームベース・連結フレームを角から5mmに合わせて切断してください。

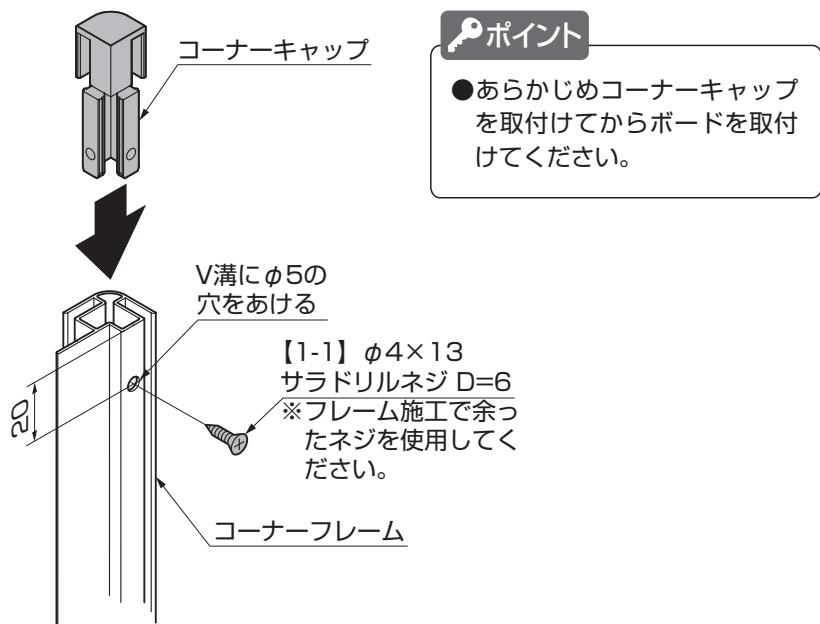
入隅の場合



- ①入隅フレームベースのフィン部分がある側の連結フレームベースは、角から37mmに合わせて切断し連結フレームは角から22mmに合わせて切断してください。
②入隅フレームベースのフィンのない側は連結フレームベース・連結フレームを角から25mmに合わせて切断してください。

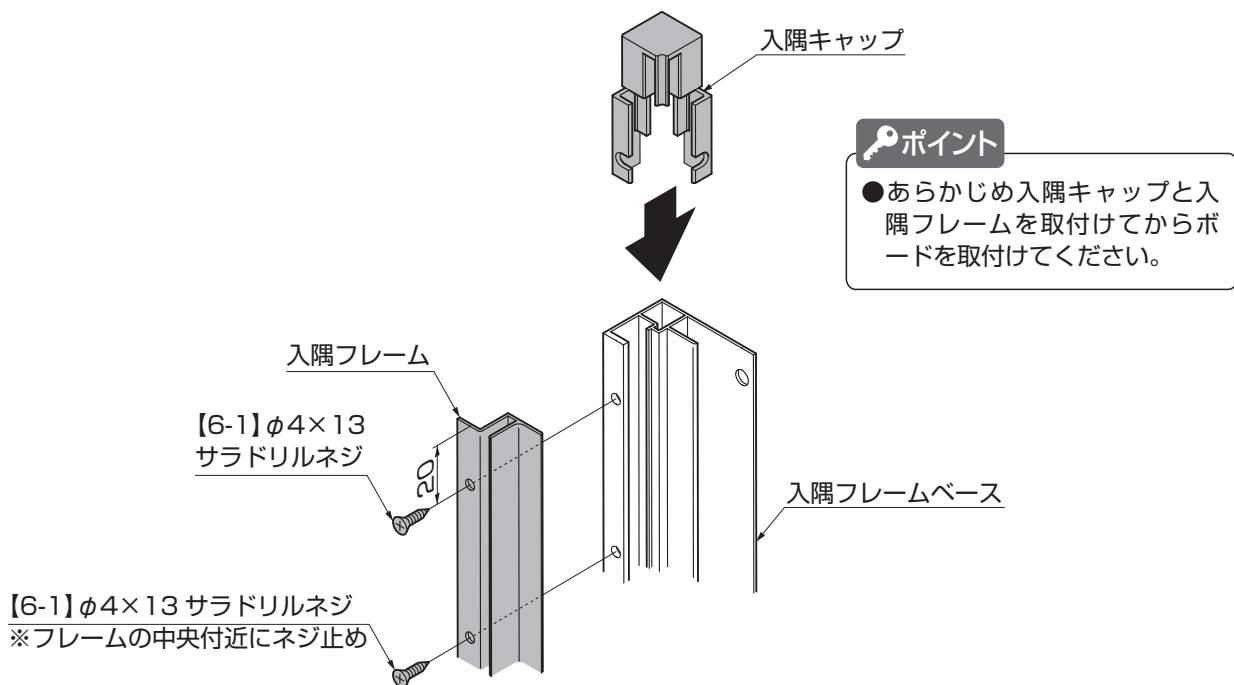
8-4 事前の準備

(1) コーナーキャップの取付け（出隅）



- ①コーナーフレームの端部から20mmのV溝にφ5の穴をあけてください。
- ②コーナーキャップをコーナーフレームの端部に差込み【1-1】で固定してください。

(2) 入隅フレームの組立て

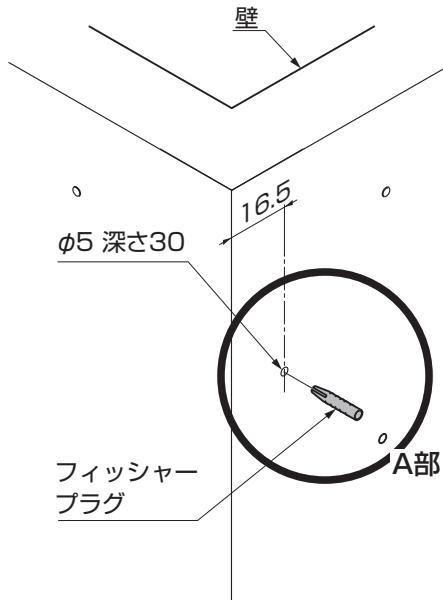


- ①入隅フレームベースと入隅フレームと入隅キャップを事前に【6-1】で組立てをしてください。

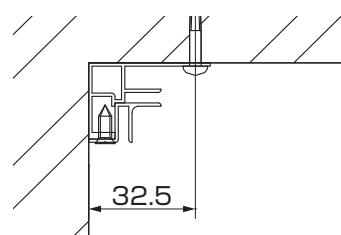
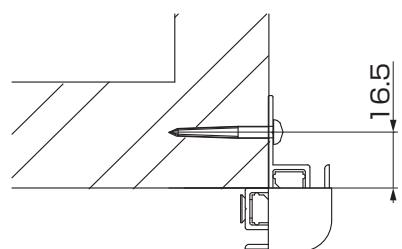
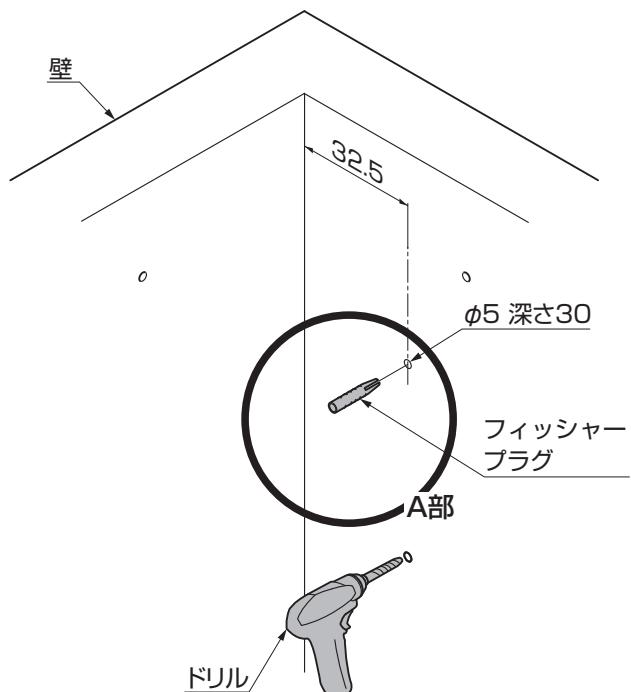
8. (つづき)

8-5 壁への下穴加工

【出隅施工の場合】



【入隅施工の場合】



A部詳細図

- ①ドリルで壁にφ5深さ30の穴をあけてください。
- ②ダストポンプ(現場手配)で、穴の中の切粉を取り除いてください。
- ③フィッシャープラグを加工した穴に、壁に埋まるところまでしっかりと差込んでください。

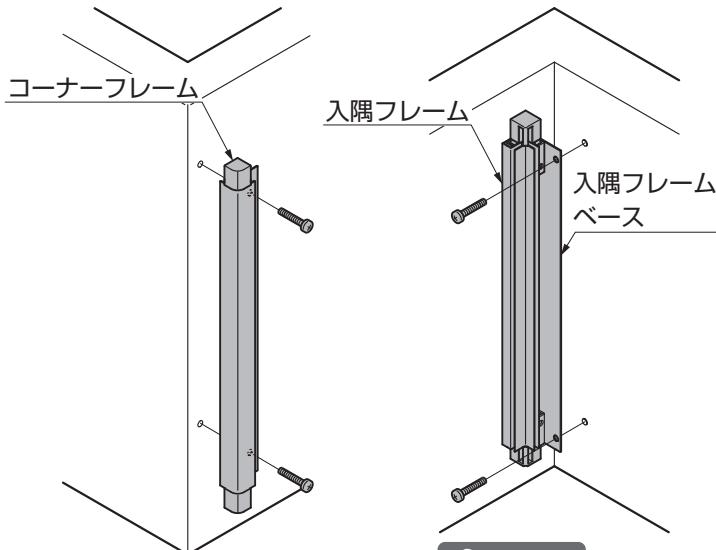
ポイント

- 下穴をあける際に、壁に破損・亀裂などが起こらないように十分に注意してください。
- 壁にワレや亀裂などが入った場合は十分に修復を行い、壁の端部から離れた位置にもう一度施工しなおしてください。
- 穴の中の切粉は、微細な切粉がほとんどなくなるまで掃除してください。掃除が不完全な場合、フィッシャープラグの強度が足りなくなるおそれがあります。
- G.L.からの下空き寸法は、電動工具を操作できる位置を確認してから行なってください。

8-6 部材の取付け

(1) コーナーフレームの取付け

【出隅コーナーの場合】 【入隅コーナーの場合】

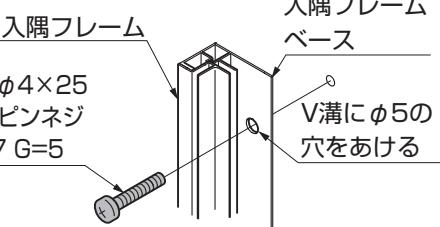
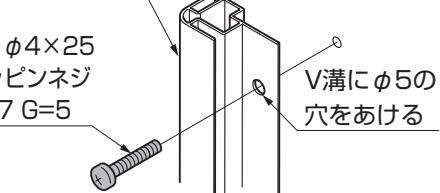


ポイント

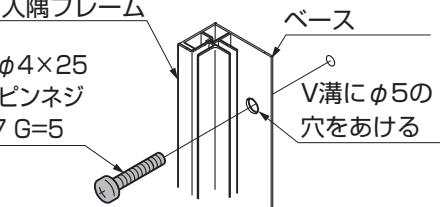
- 壁の下穴に合わせてコーナーフレームと入隅フレームベースにφ5の穴をあけ、【11-1】で固定してください。

コーナーフレーム

【11-1】 φ4×25
ナベタッピンネジ
2種 D=7 G=5



【11-1】 φ4×25
ナベタッピンネジ
2種 D=7 G=5



- フレームを短く切断した場合でも、必ず【11-1】で2箇所以上、壁に固定してください。フレームが傾くことがあります。

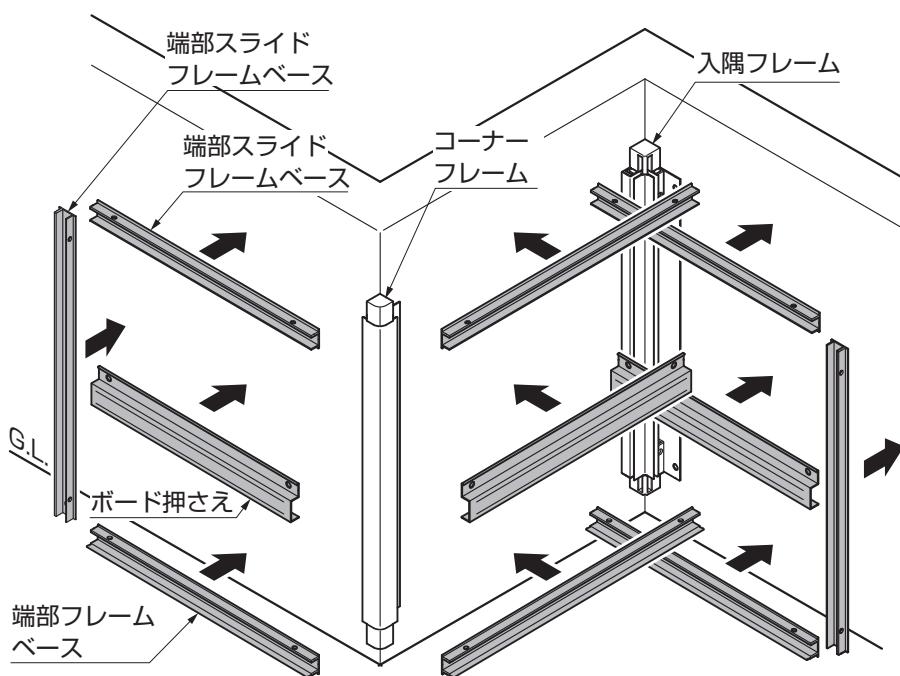
【11-1】固定箇所の目安

	L09
コーナーフレーム	2

補足

- コーナー施工がある場合は、コーナーから施工を開始してください。
端部から施工を行なうとコーナーでボードが被るため【11-1】での固定ができなくなります。

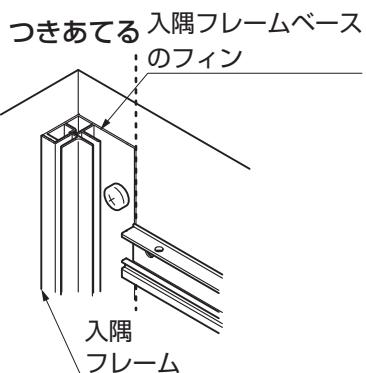
(2) フレームベースの取付け



①フレームベースを取付けてください。

ポイント

【連結フレームベースの場合】

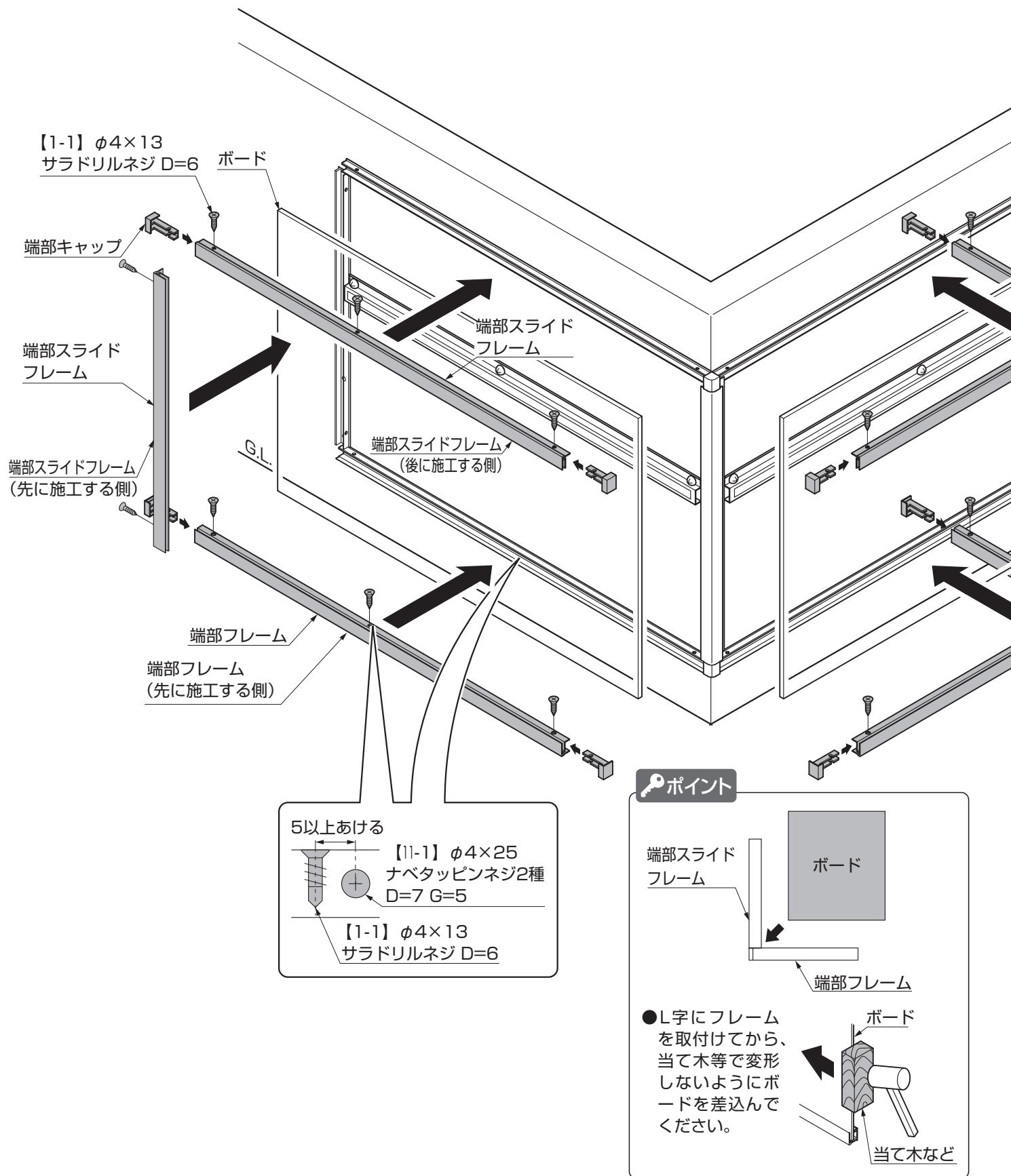


ポイント

- 詳細はP.13を参照してください。

8. (つづき)

(3) ボードとフレームの取付け



■ボードの取付け

端部フレームの施工（先に施工する側）

- ①端部フレームベースに端部フレームを被せて【1-1】で固定してください。
- ②端部キャップを【1-1】で取付けてください。
- ③ボードを端部フレームに差込んでください。
- ④ボードの位置が決まったらボード押さえについている両面テープのハクリ紙をはがしてください。（図8-1）

ポイント

- ボードの位置が決まったら、ボードを図のように手で広げ、ボード押さえについている両面テープのハクリ紙をはがしてください。

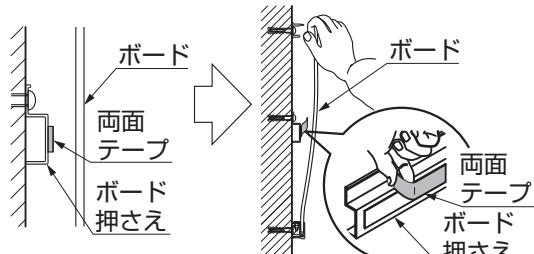


図8-1

ハクリ紙をはがす

端部スライドフレーム（後に施工する側）

- ⑤ボードに端部スライドフレームを差込みながら端部スライドフレームベースに【1-1】で固定してください。

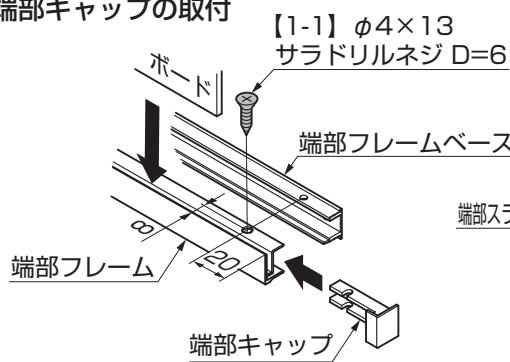
四隅のフレームが完成したら

- ⑥ボードの上からボード押さえの付近を両面テープがしっかりと貼付くように押し当ててください。

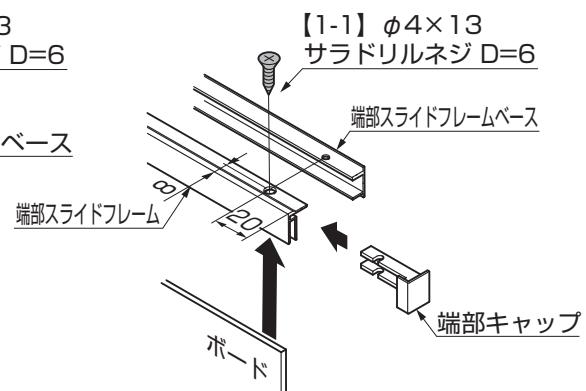
ポイント

- 連結フレームの取付けはP.16を参照してください。

端部キャップの取付



端部フレームの場合



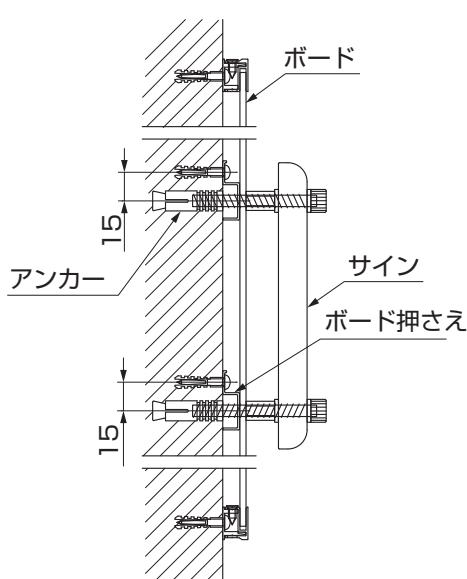
端部スライドフレームの場合

9. サイン等を取付ける場合

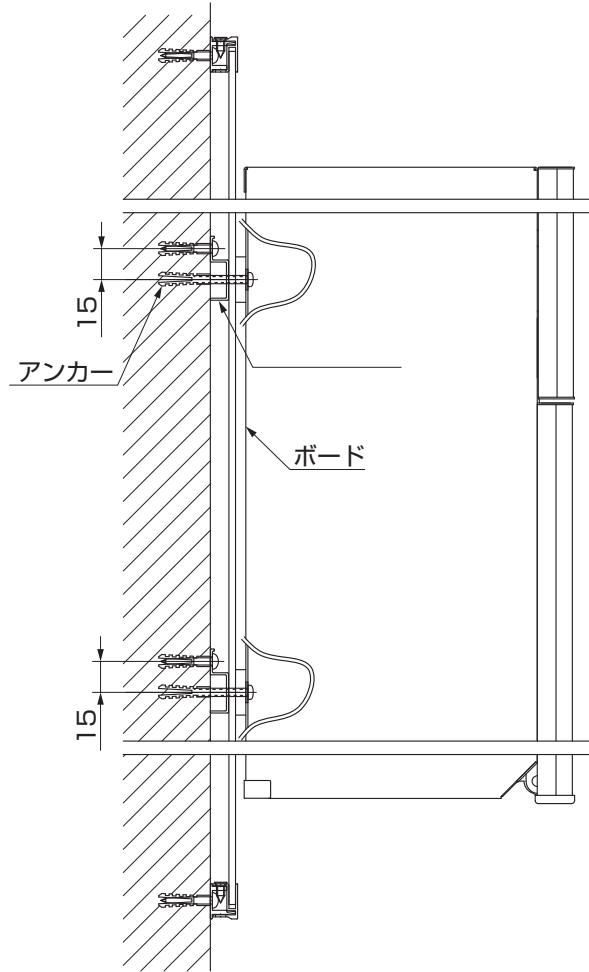
ポイント

- ボードには部品を取付けないようにしてください。ボードには強度がないため、部品を支えることができません。
- サインやポストを取付ける場合は、固定する位置にボード押さえを事前に固定してください。
また、必ずコンクリートブロック壁等の躯体に固定するようにしてください。
ボード押さえがない場所にサインやポストを取付けると、取付けた部品などが脱落する場合があります。
- 取付けに際しては、サインやポストなどの取付説明書も参照してください。

(1) サインの取付け例



(2) 面付けポストの取付け例

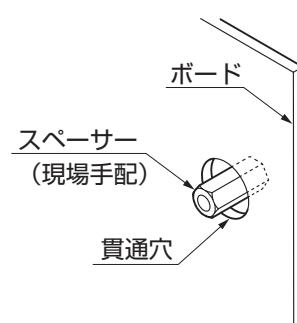


補足

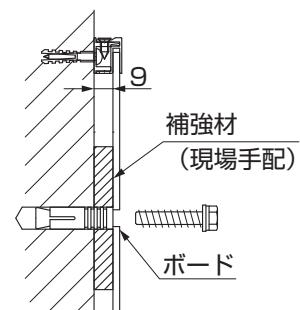
- ボード押さえが部品の取付けに耐えられず変形してしまう場合は、以下のように対処してください。

- ・ボードに貫通穴をあけ、スペーサーなどを利用して躯体側に直接固定する
- ・ボードと壁の隙間を補強材で補強してから部材を取付ける

※スペーサーでの補強例



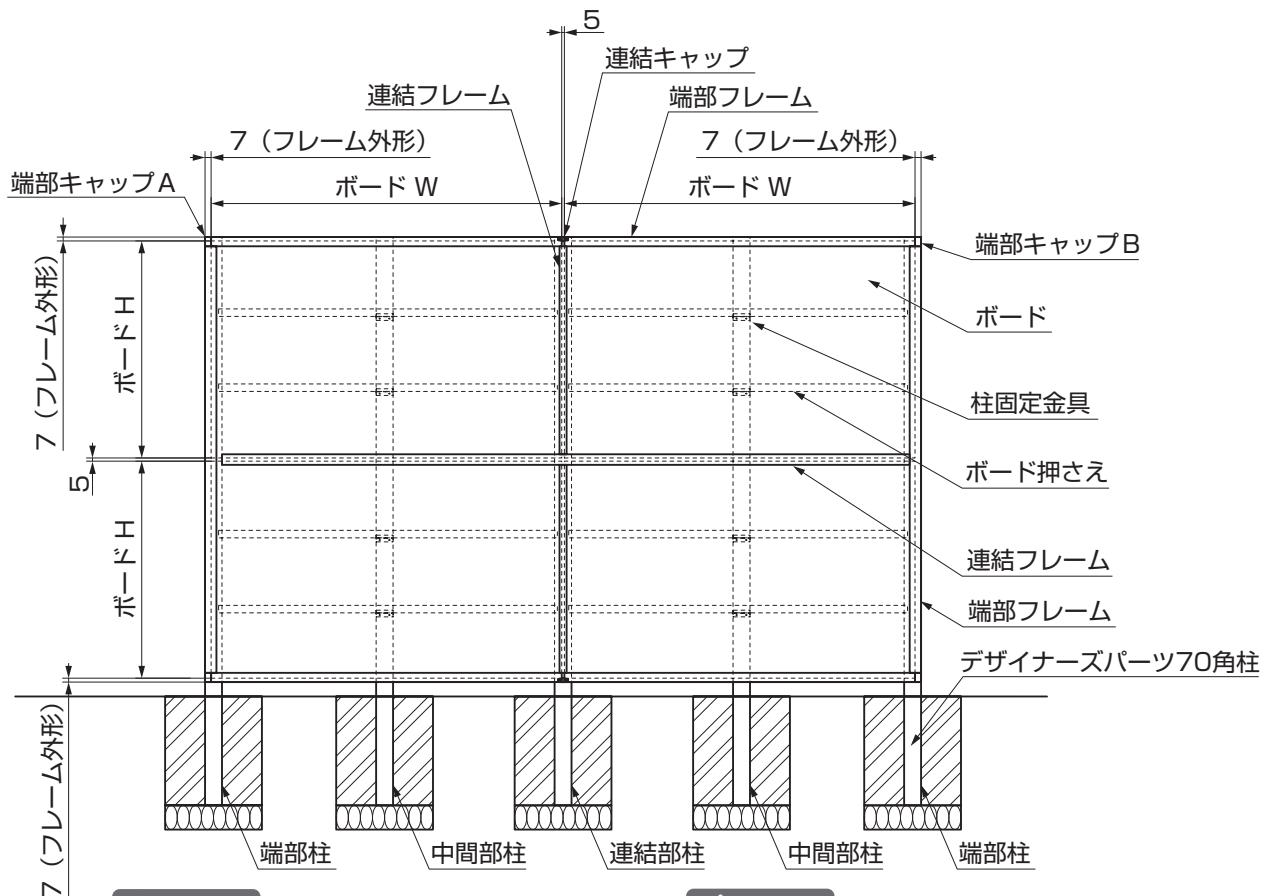
※補強材での補強例



3 柱に取付ける場合

1. 姿図

※図は2段施工の場合を示します。



ポイント

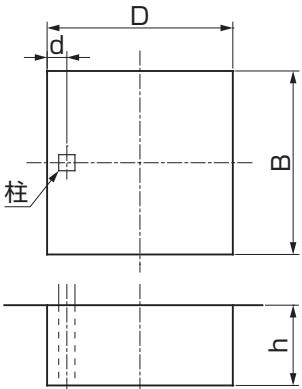
- ボード裏面は意匠面ではありません。片面のみにボードを取付ける場合は、柱と壁面を60mm以内として、外観に配慮してください。
- フレーム外形はボード外形に7mm増してください。

注意

- 製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので下記事項をお守りください。
- ・ ボードの接続部には柱が必要です。
- ・ 柱の間隔は1000mm以内としてください。
- ・ 柱高さによって柱補強材を取付けてください。
- ・ 全ての柱のG.L.から50mmの高さにφ6の水抜き穴をあけてください。

ポイント

【偏心基礎の場合】



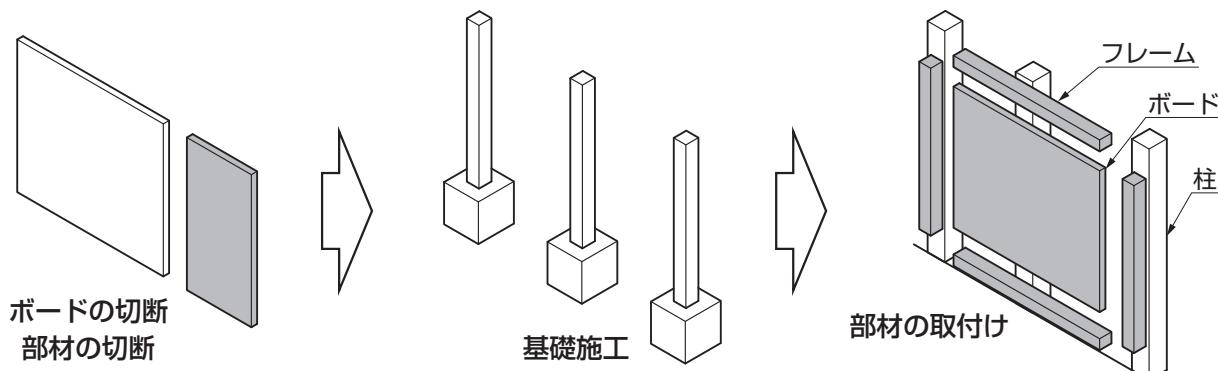
基礎サイズ (単位: mm)

	H1000 (ボード1段)	H1900 (ボード2段)	H2800 (ボード3段)
基礎幅 (B)	400	650	
基礎奥行き(D)	400	650	
基礎深さ (h)	450	450	
柱中心 (d)	95	95	

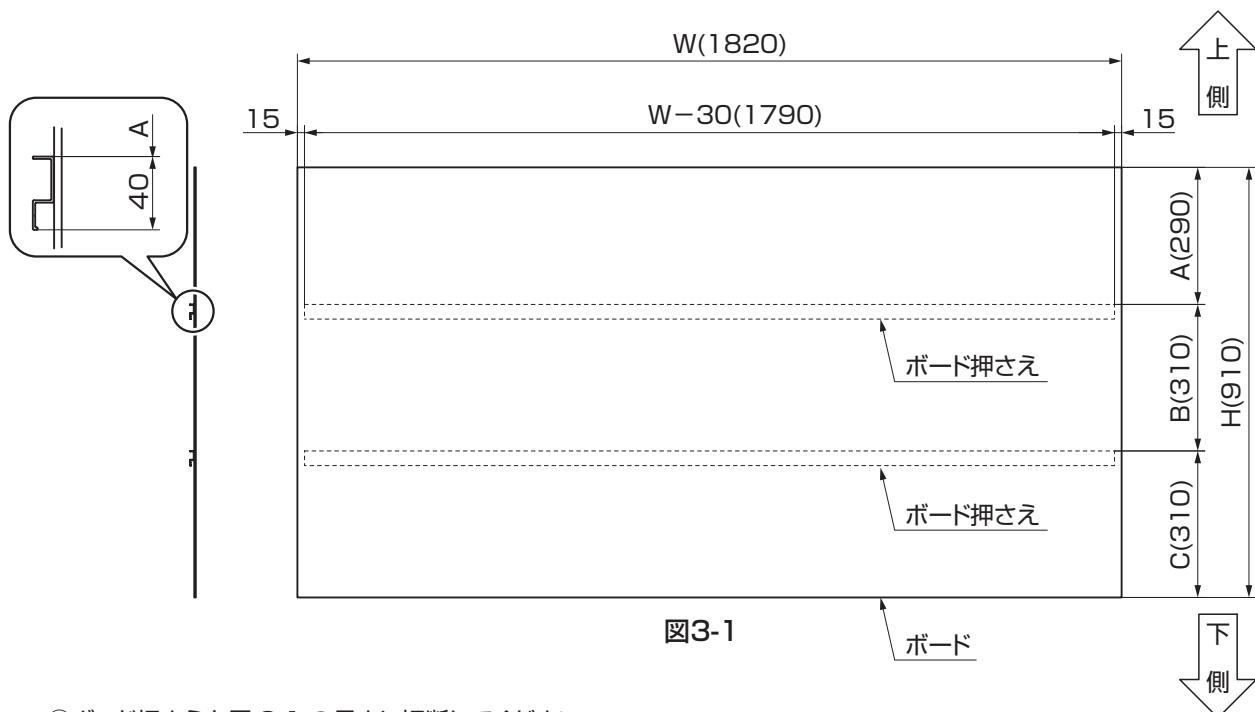
2. 施工手順



●下記手順にて施工を進めてください。



3. ボードの切断とボード押さえの貼付け



- ①ボード押さえを図 3-1 の長さに切断してください。
- ②ボード押さえについている両面テープの剥離紙を剥がして図 3-1 の位置にしっかりと貼りつけてください。
- ③ボードの H 切り詰めの場合は、表 3-1 の寸法でボード押さえを貼りつけてください。

表3-1 ボードHの切詰め

ボードサイズH	ボード押さえ	A	B	C
H910～H750	2箇所	290	310	(H-A-B)
H749～H500	1箇所	290	(H-A)	-
H499～H100	不要	-	-	-

4. 柱の加工と基礎施工

4-1 柱固定金具の取付け

(1) 一段施工の場合

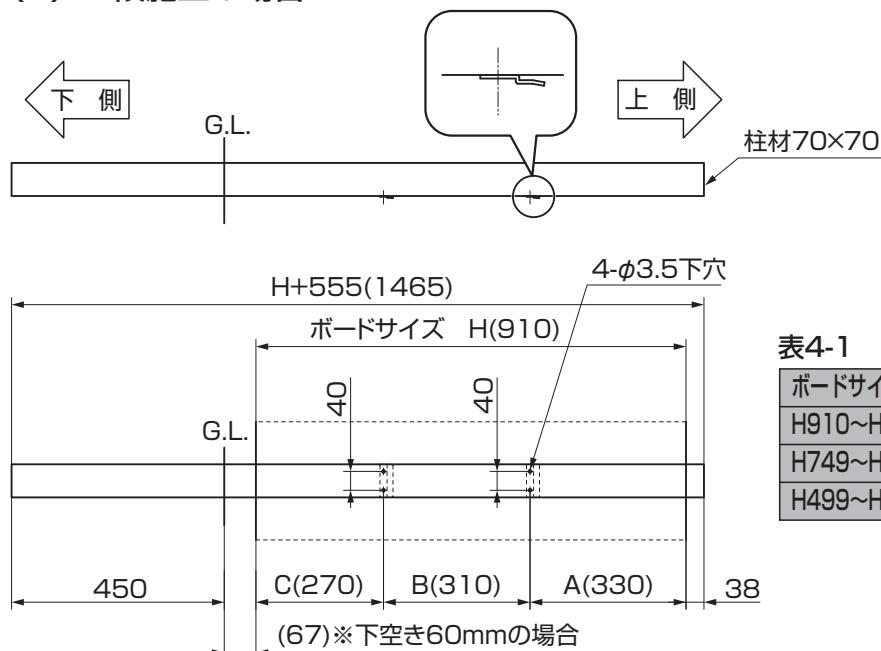
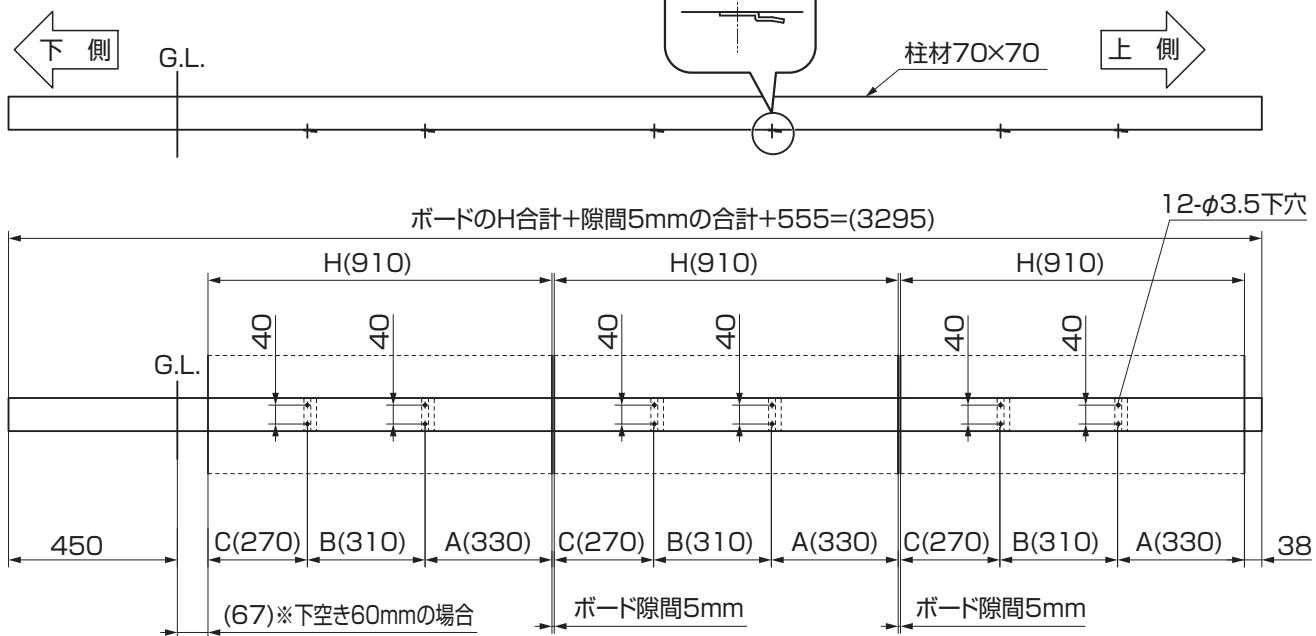


表4-1 ボードHの切詰め

ボードサイズH	柱固定金具	A	B	C
H910~H750	2か所	300	310	(H-A-B)
H749~H500	1か所	300	(H-A)	-
H499~H100	不要	-	-	-

- ①柱固定金具の下穴φ3.5をあけてください。
- ②【13-1】で柱固定金具を固定してください。

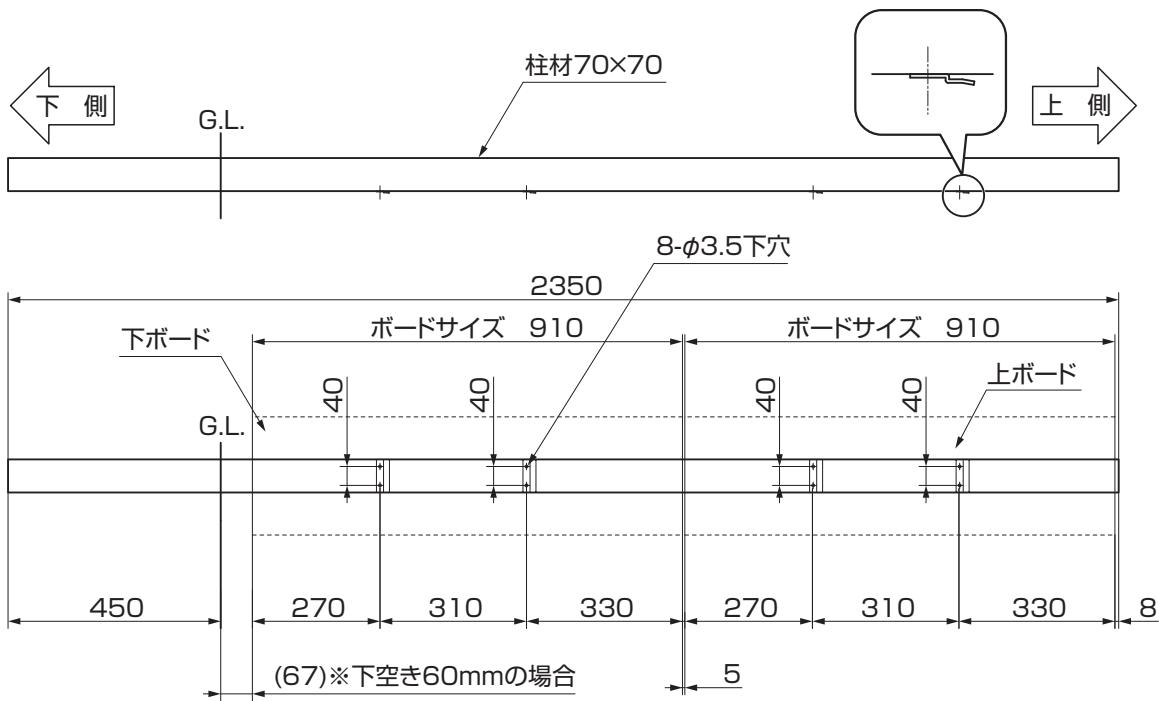
(2) 多段施工の場合



- ①柱固定金具の下穴φ3.5をあけてください。
- ②【13-1】ネジで柱固定金具を固定してください。

4. (つづき)

(3) 2段施工の場合 ※「柱材70×70 L2350」を使用して下空き60mmにする場合



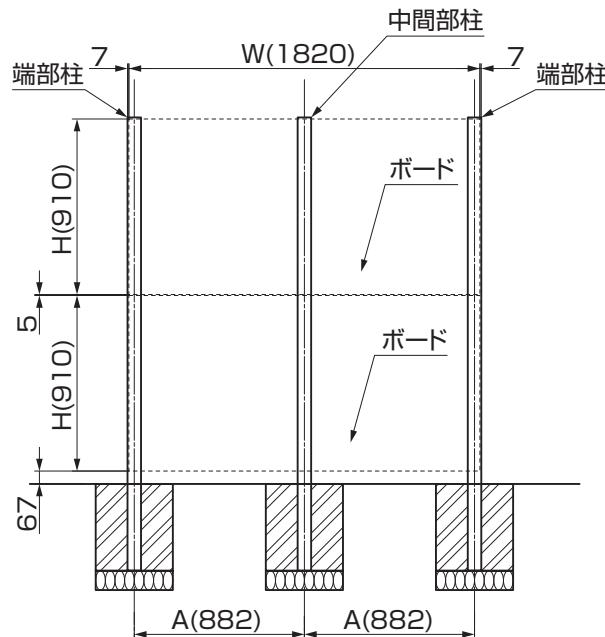
- ①柱固定金具の下穴φ3.5をあけてください。
- ②【13-1】ネジで柱固定金具を固定してください。



●L=2350mm柱で2段施工の場合は、柱の加工寸法は上から計算してください。
柱の余裕がないため、施工誤差により柱が足りなくなる場合があります。

4-2 基礎施工

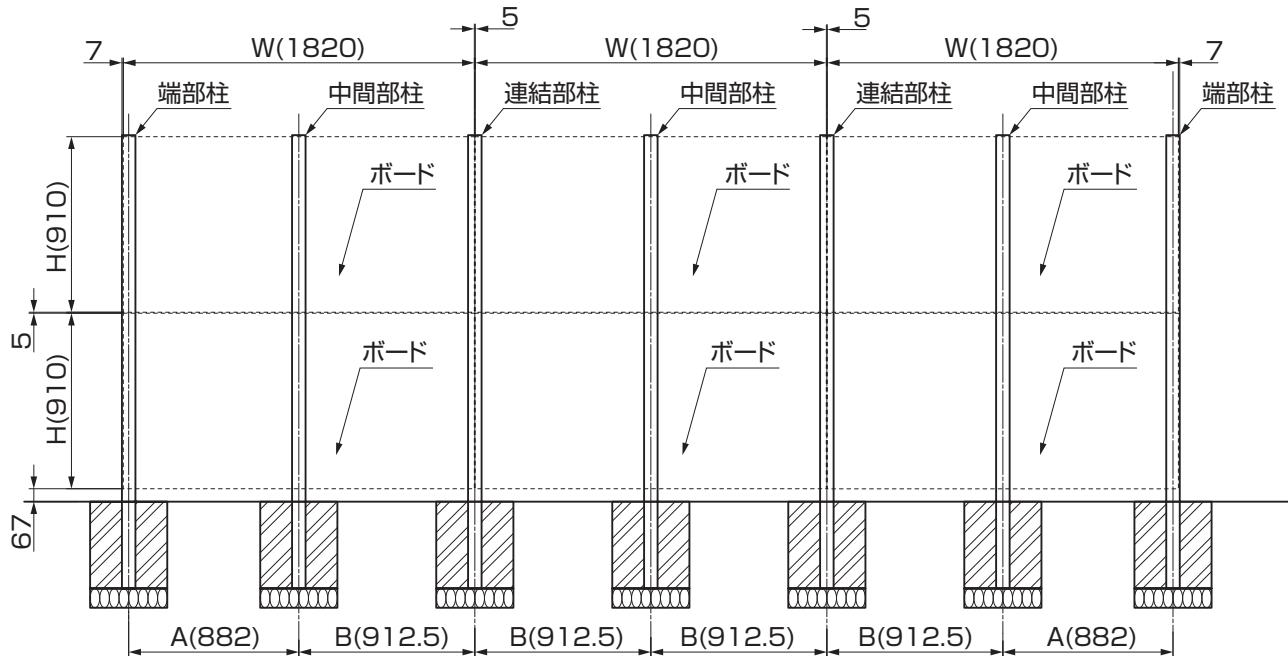
(1) 1スパンの場合



ポイント

- 柱ピッチの計算方法
A寸法 ボード端部
 $A = W \div 2 - 28$ (882) W=1820の場合
- 各フレームの切断長は壁付け仕様を参考にしてください。

(2) 連続施工の場合



ポイント

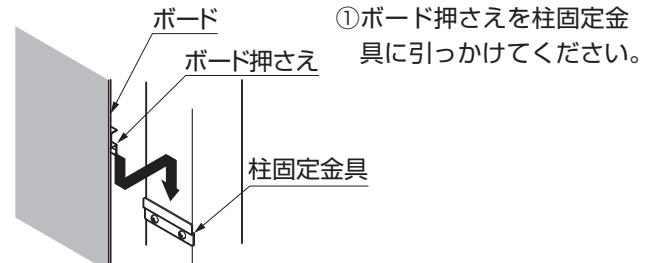
- 柱ピッチの計算方法
A寸法 ボード端部 $A = W \div 2 - 28$ (882) W=1820の場合
B寸法 ボード端部 $B = W \div 2 + 2.5$ (912.5) W=1820の場合
- 各フレームの切断長は壁付け仕様を参考にしてください。

5. 部材の取付け

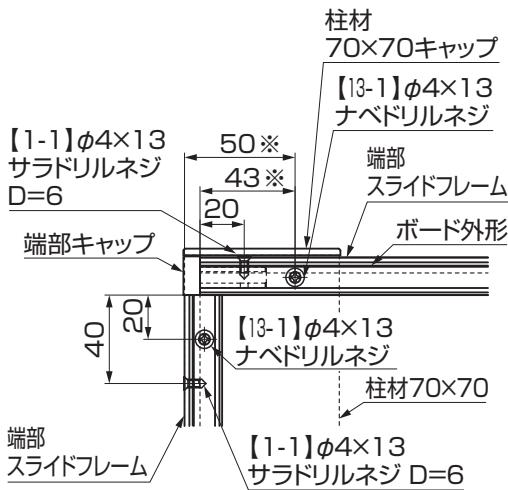
ポイント

- 端部スライドフレームベース、連結フレームベースは、【13-1】を使用し、L18で5本使用（440ピッチ）として柱に固定してください。
- 端部フレーム、端部スライドフレーム、連結フレームは、同梱している全てのネジを使い、それぞれのベースに均等なピッチで固定してください。

(1) ボードの設置



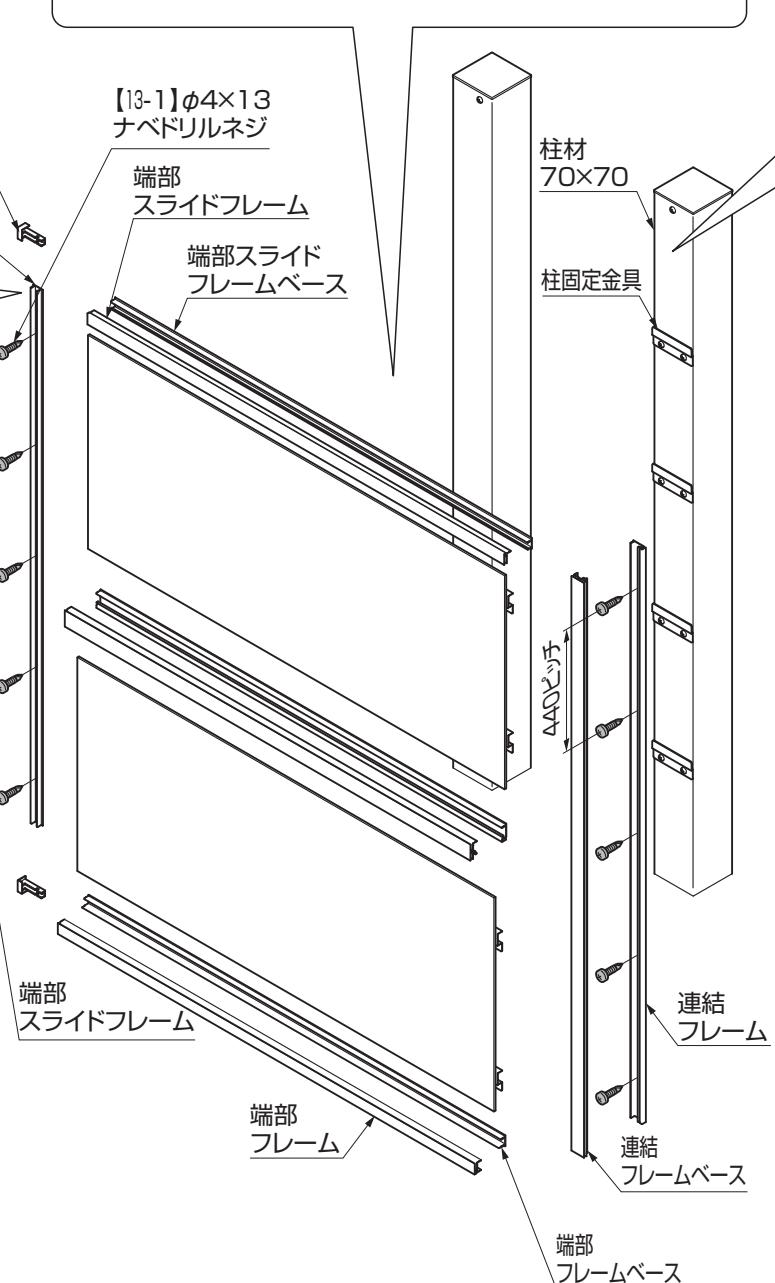
(2) 端部柱への取付け



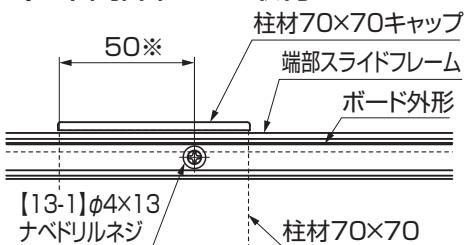
- ① 端部スライドフレームにφ5の穴を加工してください。
- ② 柱にφ3.5の穴を加工してください。
- ③ 壁付け仕様を参考にしながら、柱にフレームを施工してください。

ポイント

- ※印寸法で加工してください。柱キャップと干渉する場合があります。



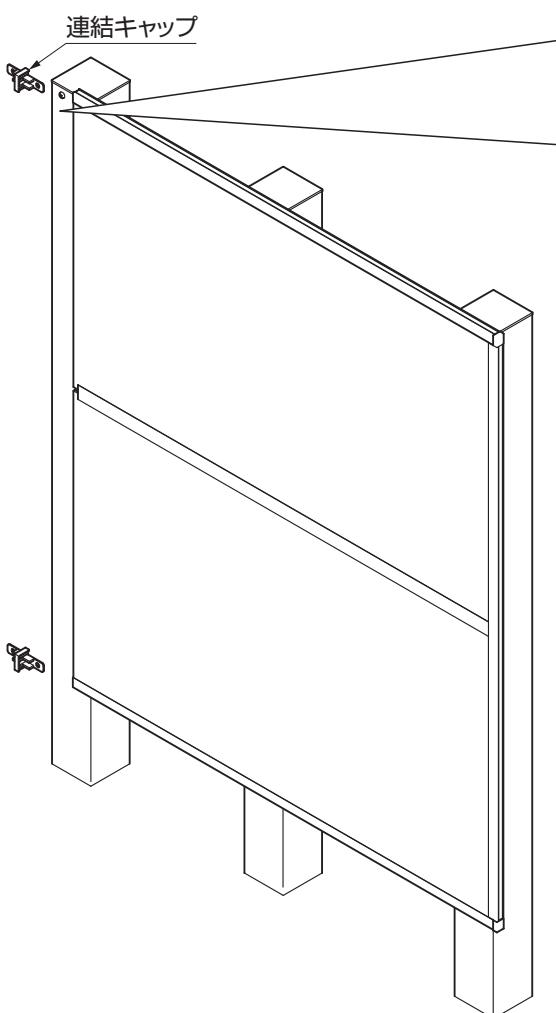
(3) 中間部柱への取付け



- ①端部スライドフレームにφ5の穴を加工してください。
 - ②柱にφ3.5の穴を加工してください。
 - ③壁付け仕様を参考にしながら、柱にフレームを施工してください。

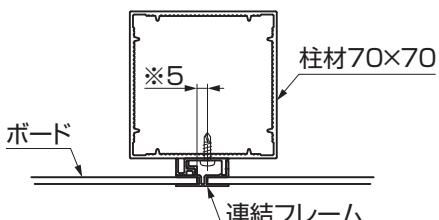
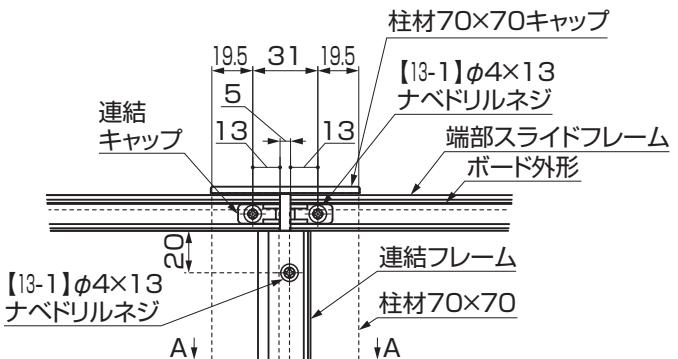
ポイント

- ※印寸法で加工してください。柱キャップと干渉する場合があります。

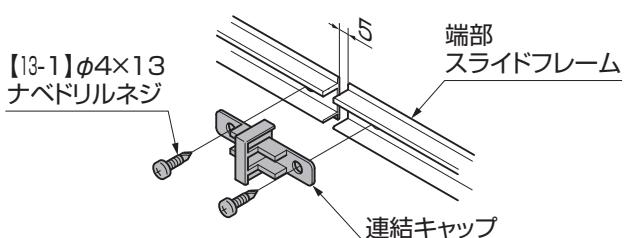


(4) 連結部柱への取付け

*図の寸法は左のボードの端部からの寸法です。



A-A断面



- ①連結キャップを端部スライドフレームに【7-1】で取付けてください。

ポイント

- フレームの連結に連結キャップを使う場合はフレームとフレームの間に5mmスペースをあけてください。

取説コード
B098
JZZ633809
201703A_1049